

16. 生活の価値観

18項目の生活価値観についてみると、最も評価の高いのは「家族仲よくのんびり暮す」で89.0パーセントの人が「良いと思う」とし、次いで「忍耐」87.3%、「自立」83.8%、「平等」81.5%、「自由」80.9%、「お金もうけ」77.8%、「権利より責任」74.3%、「伝統、習慣を大切にする」68.0%、「祖先崇拜」66.5%、「自尊心」59.8%、「どんどん新しい事に取組む」58.2%、「質素」52.7%とつづき、50%をこえているのはこれらの12項目で、残りの6項目については、「趣味、気ままに暮す」43.9%、「ガツガツ働く（勉強する）」27.9%、「人は人、自分は自分」26.5%、「デモ、住民運動」24.7%、「高福祉高負担」18.6%、「新しいものをつくるには古いものをこわす」18.4%と「良いと思う」人の割合は相対的に少ない。

逆に「良いと思わない」という面からみると、割合が最も多いのは「人は人、自分は自分」で55.7%、次いで「新しいものをつくるには古いものをこわす」55.0%、「ガツガツ働く（勉強する）」51.9%とつづき、この3項目については、過半数の人が否定的な考え方を示している。その他「良いと思う」より「良いと思わない」というのが上回っているのは、「高福祉高負担」と「デモ、住民運動」でそれぞれ15.4ポイント、13.4ポイント上回り、否定的な考え方の人が多い状況にある。

なお、「高福祉高負担」については、44.3%が「わからない」とし、「良いと思う」や「良いと思わない」を大幅に上回り、また、「デモ、住民運動」（34.5%）、「質素」（28.0%）、「新しいものをつくるには古いものをこわす」（23.6%）、「自尊心」（21.2%）、「祖先崇拜」（20.4%）、「どんどん新しい事に取組む」（20.2%）についても「わからない」というのが相対的に多いが目立っている。

さらに、「家族仲よくのんびり暮す」については、「良いと思わない」は4.1%と最も少ない状況にあるが、「わからない」や「無答」を加えると11.0%となり、否定的あるいは積極的に評価しない人が1割余もいること、同じく「祖先崇拜」についても3割以上いることは注目されよう。

この生活価値観を前回と比較すると、「良いと思う」は増加し「良いと思わない」が減少、即ち評価が高まった主な項目は、「祖先崇拜」、「自尊心」、「どんどん新しい事に取組む」、「ガツガツ働く（勉強する）」、一方「良いと思う」は減少し「良いと思わない」が増加、即ち否定的な考え方が増加した主な項目は、「高福祉高負担」、「デモ、住民運動」、「新しいものをつくるには古いものをこわす」となっている。

図16-1 「良いと思う」と「良いと思わない」の構成図

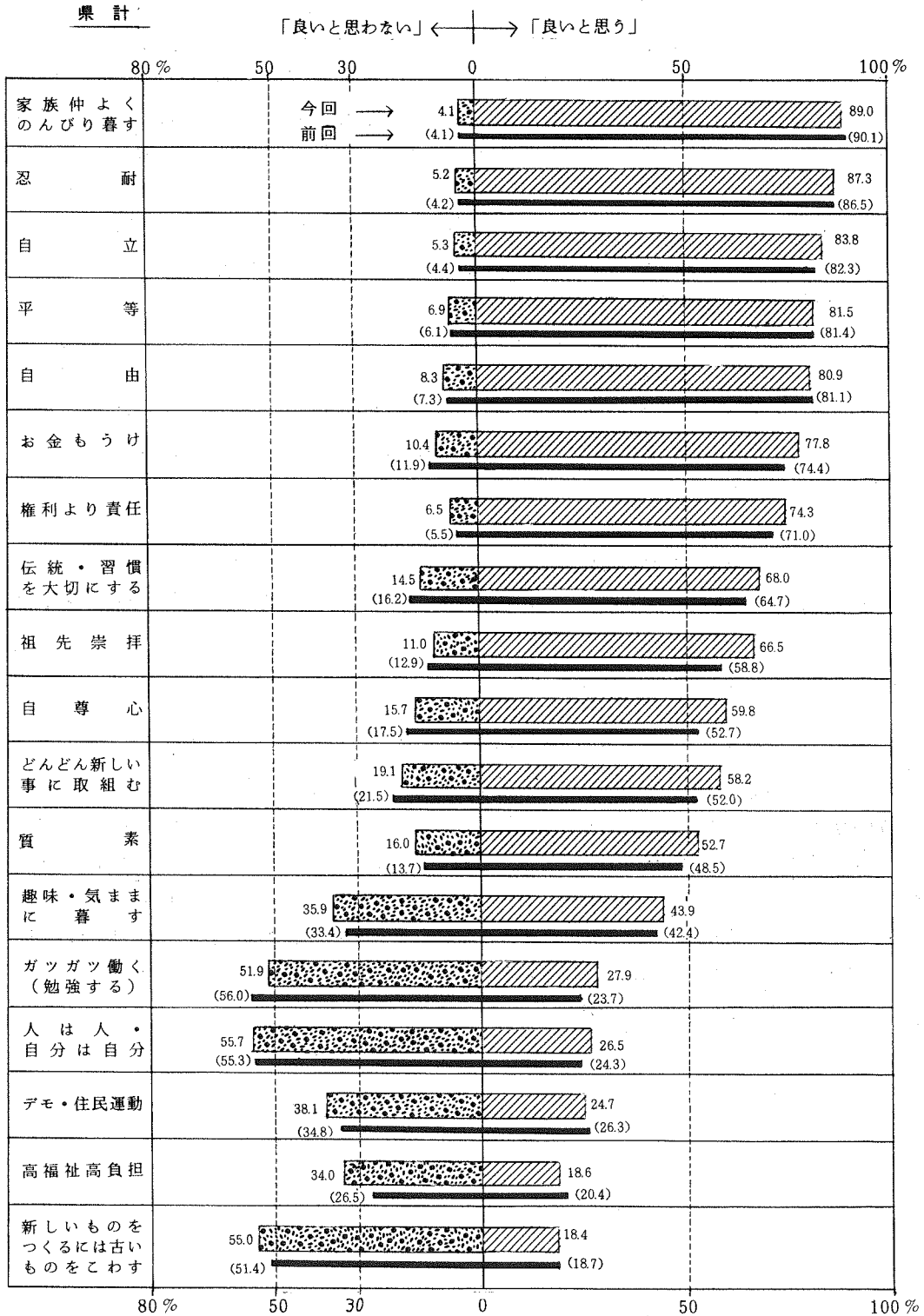




表 16-1 生活価値観（構成比）

（単位：％）

区分 項目	区分	県計		性別		年齢階級別						地域				
		男	女	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60歳 以上	北部	中部	那覇	南部	宮古	八重山	
自由	①良いと思う	80.9	77.2	89.5	86.7	82.2	77.3	78.6	69.1	79.0	80.0	82.8	79.6	79.3	88.1	
	②々々思わない	8.3	9.3	3.8	6.3	8.0	10.2	10.0	10.7	6.3	9.1	7.7	8.7	10.7	6.4	
	③わからな	8.9	6.8	6.0	5.9	8.3	10.9	9.2	13.9	10.7	9.4	8.5	8.5	8.7	4.6	
	④無答	1.9	1.8	2.1	1.1	1.4	1.6	2.2	6.4	4.0	1.5	1.1	3.2	1.3	0.9	
アモ、住民運動	1	24.7	27.7	23.2	23.8	30.5	26.0	19.7	17.1	26.5	24.1	26.4	21.6	22.0	30.3	
	2	38.1	38.8	37.1	31.5	36.5	41.4	42.5	36.5	41.2	36.3	38.5	37.8	42.0	38.5	
	3	34.5	30.8	39.1	43.8	36.2	30.2	34.2	38.5	26.5	37.5	33.6	35.8	34.7	29.4	
	4	2.7	2.7	2.8	1.5	1.9	2.4	3.6	7.9	5.9	2.1	1.5	4.8	1.3	1.8	
質	1	52.7	52.0	34.1	48.0	55.4	57.9	57.8	54.0	47.8	52.2	57.0	49.8	44.0	65.1	
	2	16.0	16.8	15.7	18.5	16.2	14.2	14.8	16.7	16.2	14.1	16.7	18.6	19.3	12.8	
	3	28.0	27.9	28.2	31.8	25.6	24.8	23.5	21.8	29.4	30.5	24.5	27.8	34.0	19.3	
	4	3.3	3.3	3.3	1.7	2.7	3.1	3.9	7.5	6.6	3.3	1.9	3.9	2.7	2.8	
趣味、気ままに暮す	1	43.9	46.0	55.8	45.1	42.7	38.8	44.9	42.5	44.1	42.7	42.9	40.6	61.3	50.5	
	2	36.9	35.0	22.1	34.1	39.3	41.4	36.2	31.4	33.5	36.7	38.0	37.2	23.3	33.0	
	3	16.8	15.3	19.9	18.3	15.9	15.9	15.3	17.1	15.4	17.6	16.7	17.2	13.3	15.6	
	4	3.5	3.8	3.1	2.5	2.2	3.8	3.6	9.1	7.0	3.1	2.5	5.1	2.0	0.9	
自立	1	83.8	85.9	82.8	87.8	87.5	84.4	78.6	73.8	75.7	84.6	87.8	81.7	74.7	89.9	
	2	5.3	4.4	4.9	5.3	4.0	4.7	8.5	6.0	5.9	4.2	4.8	6.0	12.7	5.5	
	3	8.3	6.8	11.2	5.7	6.5	8.5	10.0	11.9	12.5	9.1	6.0	7.8	12.0	2.8	
	4	2.6	2.9	2.3	1.1	1.3	2.0	2.4	2.9	8.3	5.9	2.1	1.4	4.6	0.7	
家族仲よく のんびり暮す	1	89.0	88.9	85.8	90.3	91.1	89.1	87.6	86.1	86.0	89.6	89.3	87.4	91.3	91.7	
	2	4.1	4.3	3.9	3.4	4.2	5.4	4.9	4.8	5.9	3.7	4.4	4.1	4.0	2.8	
	3	4.9	4.8	4.9	4.2	4.2	4.7	4.9	3.6	4.0	5.3	4.9	4.8	3.3	4.6	
	4	2.0	2.0	1.5	1.3	2.0	0.9	2.7	5.6	4.0	1.4	1.4	3.7	1.3	0.9	
伝統、習慣を 大切にす	1	68.0	66.1	61.8	64.2	66.6	71.2	71.8	72.2	68.0	65.0	71.6	68.6	64.7	74.3	
	2	14.5	16.1	12.4	16.0	14.9	14.6	13.6	10.7	14.7	14.8	12.7	14.5	20.7	14.0	
	3	15.1	15.5	14.7	21.7	18.3	16.6	12.1	10.9	13.2	17.9	14.2	13.3	13.3	11.0	
	4	2.4	2.3	2.4	1.1	1.9	2.1	3.6	5.2	4.0	2.3	1.5	3.7	1.3	-	
ガツガツ働く （勉強する）	1	27.9	27.8	29.2	22.3	24.5	28.4	37.9	28.6	27.6	26.0	28.1	25.7	36.7	40.4	
	2	51.9	53.7	49.4	56.6	58.7	51.3	43.5	42.1	50.7	52.9	51.9	52.3	47.3	51.4	
	3	17.2	15.2	20.2	19.4	14.2	18.2	13.6	13.6	21.4	18.6	18.4	16.5	14.0	6.4	
	4	3.1	3.2	1.1	1.7	2.6	2.1	5.1	7.9	6.3	2.6	1.5	5.5	2.0	1.8	

1	81.5	82.1	80.9	85.8	86.7	80.4	81.8	79.9	72.6	82.7	79.9	81.7	80.3	86.0	90.8
2	6.9	7.3	6.5	6.0	3.8	8.7	8.7	7.3	4.4	7.4	7.2	6.4	7.6	6.7	4.6
3	8.3	7.4	9.5	6.0	8.2	8.0	7.3	9.2	12.7	4.4	9.8	9.7	7.1	6.0	3.7
4	3.2	3.3	3.1	2.3	1.3	2.9	2.3	3.6	10.3	5.5	3.1	2.2	5.1	1.3	0.9
1	18.4	20.2	16.1	12.7	19.4	15.0	20.1	23.5	19.4	20.6	17.2	16.8	19.3	28.0	17.4
2	55.0	54.2	56.1	60.7	56.4	57.2	54.4	51.0	48.4	51.8	53.6	57.0	55.5	54.7	61.5
3	23.6	22.5	25.0	25.1	21.7	25.5	23.2	22.3	23.4	22.1	26.7	24.2	20.6	15.3	19.3
4	3.0	3.1	2.8	1.5	2.5	2.3	2.3	3.2	8.7	5.5	2.6	2.1	4.6	2.0	1.8
1	77.8	77.1	78.7	75.7	79.0	76.4	81.3	79.9	70.6	80.9	75.7	79.1	76.2	86.0	76.2
2	10.4	11.7	8.8	8.2	9.1	10.3	10.6	10.2	15.9	8.5	10.7	10.7	11.0	11.3	15.6
3	9.1	8.4	10.1	14.6	10.7	10.9	5.7	7.0	6.8	8.5	11.0	9.0	8.5	2.0	7.3
4	2.6	2.8	2.3	1.5	1.3	2.4	2.4	2.9	6.8	5.2	2.7	1.2	4.4	0.7	0.9
1	87.3	87.5	87.1	87.3	88.6	87.4	89.4	86.7	80.6	84.2	86.9	88.3	85.3	92.0	93.4
2	5.2	5.9	4.2	4.5	4.8	5.7	5.0	5.1	5.2	5.2	5.2	5.1	6.2	4.0	2.8
3	5.3	4.3	6.5	7.5	5.3	4.9	4.0	5.6	6.4	5.5	6.1	5.5	4.4	2.7	2.8
4	2.3	2.4	2.3	0.8	1.3	2.0	1.6	2.7	7.9	5.2	1.8	1.2	4.1	1.3	0.9
1	26.5	26.1	27.0	33.3	31.2	29.1	23.2	22.3	17.9	27.2	25.8	27.7	25.9	31.3	19.3
2	55.7	57.4	53.6	44.6	49.1	55.0	62.7	60.9	57.1	55.5	55.3	56.0	54.8	51.3	67.0
3	15.4	14.4	16.6	21.0	18.7	14.2	12.3	13.1	17.5	12.1	17.0	14.9	14.9	16.7	12.8
4	2.4	2.1	2.8	1.1	1.1	1.7	1.7	3.6	7.5	5.2	1.9	1.4	4.4	0.7	0.9
1	58.2	61.3	54.2	68.9	62.3	56.3	56.3	57.5	49.2	53.7	56.8	59.7	58.5	62.7	63.3
2	19.1	18.3	20.0	9.4	13.7	20.2	24.8	19.9	21.8	21.3	19.7	17.8	18.4	16.7	22.9
3	20.2	17.8	23.3	20.6	22.7	21.4	16.8	19.4	21.0	19.9	21.6	20.9	18.8	19.3	11.0
4	2.6	2.6	2.5	1.1	1.3	2.2	2.1	3.2	7.9	5.2	1.9	1.6	4.4	1.3	2.8
1	59.8	60.8	56.6	49.8	63.4	62.5	59.8	61.4	54.0	54.4	57.9	65.3	59.2	53.3	65.1
2	15.7	16.1	15.2	11.6	12.4	16.8	19.6	12.1	19.8	15.8	17.1	13.3	14.5	19.3	18.4
3	21.2	20.0	22.8	36.3	21.7	18.2	17.9	22.3	18.7	23.2	21.8	19.4	21.8	25.3	15.6
4	3.3	3.2	3.4	2.3	2.5	2.6	2.8	4.1	7.5	6.6	3.2	2.1	4.6	2.0	0.9
1	66.5	66.7	66.3	37.8	55.2	64.2	75.6	81.6	79.4	59.6	65.7	71.6	63.5	60.7	77.1
2	11.0	11.1	10.8	15.4	12.6	14.6	9.0	6.3	5.2	11.4	10.5	11.2	12.2	9.3	10.1
3	20.4	20.2	20.5	45.3	30.7	19.3	14.2	9.5	9.1	23.9	22.3	15.9	20.6	28.7	11.9
4	2.2	2.0	2.3	1.5	1.5	1.9	1.2	2.7	6.4	5.2	1.5	1.4	3.7	1.3	0.9
1	74.3	74.4	74.2	58.1	76.2	74.2	79.4	78.2	70.2	72.1	71.4	76.2	74.8	82.0	80.7
2	6.5	7.2	5.5	6.4	5.3	8.9	6.1	5.1	5.2	5.9	7.6	5.5	6.2	5.3	6.4
3	16.4	15.5	17.5	33.3	17.3	14.6	12.1	13.4	16.3	16.5	18.8	16.0	14.0	12.0	11.9
4	2.9	2.9	2.8	2.3	1.3	2.3	2.4	3.4	8.3	5.5	2.1	2.3	5.1	0.7	0.9
1	18.6	19.2	17.9	17.2	17.3	15.0	17.5	23.5	26.6	18.8	19.6	18.7	15.1	21.3	18.4
2	34.0	37.3	29.9	18.0	31.0	39.8	40.6	31.6	29.4	31.6	32.1	36.8	36.0	28.0	38.5
3	44.3	40.4	49.0	61.8	49.1	42.7	39.5	41.5	36.5	43.4	45.7	42.6	44.0	47.3	41.3
4	3.2	3.1	3.3	3.0	2.7	2.4	2.4	3.4	7.5	6.3	2.7	1.9	4.8	3.3	1.8

注：区分中1,2,3,4は、項目の自由①、②、③、④に同じ

図16-2 生活価値観の前回比較

県 計

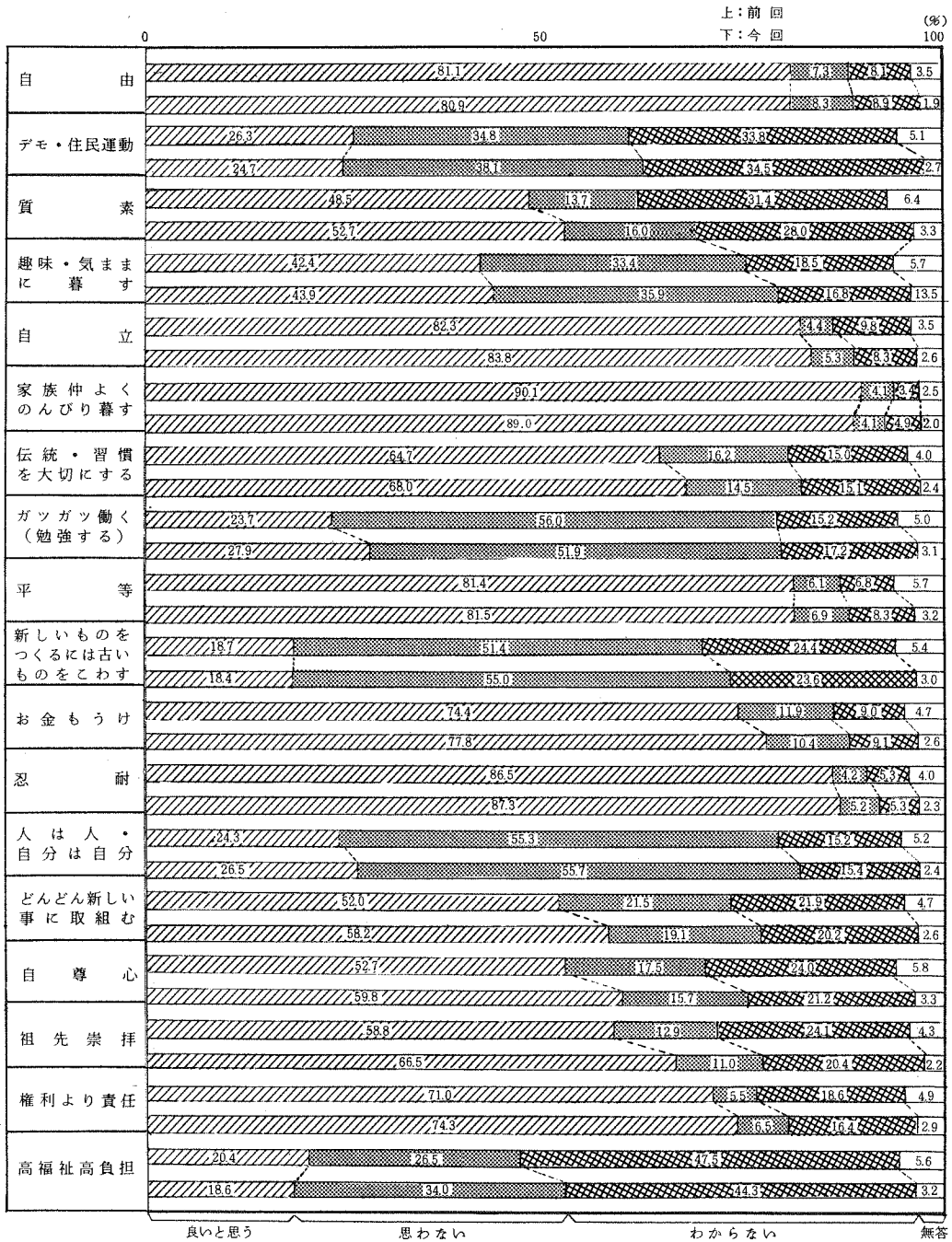


表16-2 「良いと思う」の割合の高い順

(単位：%)

順位	項目	今回(1)	前回(2)	差 (1)-(2)	順位	項目	今回(1)	前回(2)	差 (1)-(2)
1	家族仲よくのんびり暮す	89.0	90.1 ①	ポイント △ 1.1	10	自尊心	59.8	52.7 ⑩	ポイント 7.1
2	忍耐	87.3	86.5 ②	0.8	11	どんどん新しい事に取組む	58.2	52.0 ⑪	6.2
3	自立	83.8	82.3 ③	1.5	12	質素	52.7	48.5 ⑫	4.2
4	平等	81.5	81.4 ④	0.1	13	趣味・気ままに暮す	43.9	42.4 ⑬	1.5
5	自由	80.9	81.1 ⑤	△ 0.2	14	ガツガツ働く(勉強する)	27.9	23.7 ⑬	4.2
6	お金もうけ	77.8	74.4 ⑥	3.4	15	人は人・自分は自分	26.5	24.3 ⑮	2.2
7	権利より責任	74.3	71.0 ⑦	3.3	16	デモ・住民運動	24.7	26.3 ⑭	△ 1.6
8	伝統・習慣を大切にす	68.0	64.7 ⑧	3.3	17	高福祉高負担	18.6	20.4 ⑰	△ 1.8
9	祖先崇拜	66.5	58.8 ⑨	7.7	18	新しいものをつくるには古いものをこわす	18.4	18.7 ⑱	△ 0.3

注：○内は前回の順位

表16-3 「良いと思わない」の割合の高い順

(単位：%)

順位	項目	今回(1)	前回(2)	差 (1)-(2)	順位	項目	今回(1)	前回(2)	差 (1)-(2)
1	人は人・自分は自分	55.7	55.3 ②	ポイント 0.4	10	伝統・習慣を大切にす	14.5	16.2 ⑨	ポイント △ 1.7
2	新しいものをつくるには古いものをこわす	55.0	51.4 ③	3.6	11	祖先崇拜	11.0	12.9 ⑪	△ 1.9
3	ガツガツ働く(勉強する)	51.9	56.0 ①	△ 4.1	12	お金もうけ	10.4	11.9 ⑫	△ 1.5
4	デモ・住民運動	38.1	34.8 ④	3.3	13	自由	8.3	7.3 ⑬	1.0
5	趣味・気ままに暮す	35.9	33.4 ⑤	2.5	14	平等	6.9	6.1 ⑭	0.8
6	高福祉高負担	34.0	26.5 ⑥	7.5	15	権利より責任	6.5	5.5 ⑮	1.0
7	どんどん新しい事に取組む	19.1	21.5 ⑦	△ 2.4	16	自立	5.3	4.4 ⑯	0.9
8	質素	16.0	13.7 ⑩	2.3	17	忍耐	5.2	4.2 ⑰	1.0
9	自尊心	15.7	17.5 ⑧	△ 1.8	18	家族仲よくのんびり暮す	4.1	4.1 ⑱	0

注：○内は前回の順位

表16-4 「良いと思う」と「良いと思わない」の前回との差の差

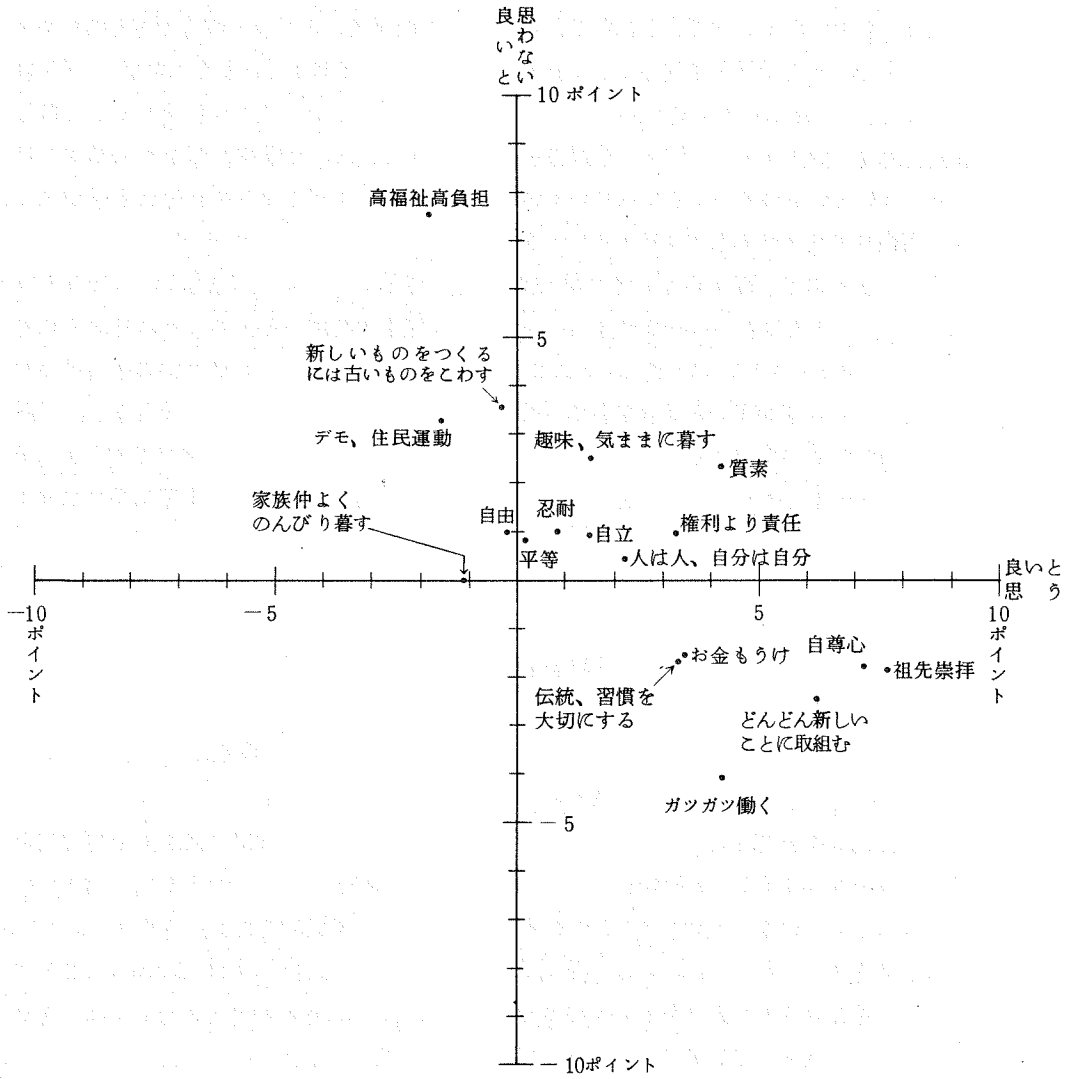
(単位：ポイント)

区分 項目	思 う (1)	思わない (2)	差 (1-2)	項 目	思 う (1)	思わない (2)	差 (1-2)
自 由	△ 0.2	1.0	△ 1.2	新しいものをつくるには古いものをこわす	△ 0.3	3.6	△ 3.9
デモ・住民運動	△ 1.6	3.3	△ 4.9	お 金 も う け	3.4	△ 1.5	4.9
質 素	4.2	2.3	1.9	忍 耐	0.8	1.0	△ 0.2
趣味・気ままに暮す	1.5	2.5	△ 1.0	人 は 人 ・ 自 分 は 自 分	2.2	0.4	1.8
自 立	1.5	0.9	0.6	どんどん新しい事に取組む	6.2	△ 2.4	8.6
家族仲よくのんびり暮す	△ 1.1	0	△ 1.1	自 尊 心	7.1	△ 1.8	8.9
伝統・習慣を大切にす	3.3	△ 1.7	5.0	祖 先 崇 拝	7.7	△ 1.9	9.6
ガツガツ働く(勉強する)	4.2	△ 4.1	8.3	権 利 よ り 責 任	3.3	1.0	2.3
平 等	0.1	0.8	△ 0.7	高 福 祉 高 負 担	△ 1.8	7.5	△ 9.3

表16-5 「良いと思う」と「良いと思わない」の対前回増減表

区分	良いと思わない	増	良いと思わない	減	良いと思わない	不変	計
良いと思う	増	7 項目	6 項目	0 項目	13項目		
"	減	4 "	0 "	1 "	5 "		
計		11 "	6 "	1 "	18 "		

図16-3 「良いと思う」の対前回増減図(%)
「良いと思わない」



次に、生活の価値観を男女別にみると、「良いと思う」項目は、男女ともやはり「家族仲よくのんびり暮す」が最も多く、その割合は、男子88.9%、女子89.2%となっている。また、「良いと思う」割合は、「忍耐」については男女とも87%台、「平等」については男子82.1%、女子80.9%と男女間にあまり差はみられないが、「自由」や「自立」については差がみられ、「自由」は6.7ポイント、「自立」は4.7ポイントそれぞれ男子が多い。その他「良いと思う」割合で男女間に差が目立つのは「どんどん新しい事に取組む」、「デモ、住民運動」、「趣味、気ままに暮す」、「伝統、習慣を大切にする」、「新しいものをつくるには古いものをこわす」で、このうち「どんどん新しい事に取組む」は7.1ポイント、「デモ、住民運動」は6.7ポイント、「趣味、気ままに暮す」は4.7ポイント、「新しいものをつくるには古いものをこわす」は4.1ポイントそれぞれ男子が多く、逆に「伝統、習慣を大切にする」は4.4ポイント女子が多い。

また、「良いと思わない」面からみて男女間に差が目立つのは、「高福祉高負担」、「ガツガツ働く(勉強する)」、「人は人、自分は自分」、「伝統、習慣を大切にする」で、その差はそれぞれ7.4ポイント、4.0ポイント、3.8ポイント、3.7ポイントとなっているが、これらの項目はいずれも男子が多く、逆に女子が多いのは18項目中「自由」、「趣味、気ままに暮す」、「自立」、「新しいものをつくるには古いものをこわす」、「どんどん新しい事に取組む」の5項目であるが、その差は2.1ポイント～1.7ポイントと小さく、否定的な考え方は総じて女子より男子に多い状況にある。

なお、前回と比較して評価が高まった主な項目、即ち「良いと思う」という割合が増加した主な項目は、男子は、「祖先崇拜」(7.7ポイント)、「人は人、自分は自分」(4.6ポイント)、「自尊心」(4.5ポイント)、「ガツガツ働く(勉強する)」(4.3ポイント)、女子は「自尊心」(9.1ポイント)、「祖先崇拜」(7.8ポイント)、「どんどん新しい事に取組む」(7.1ポイント)、「質素」(6.1ポイント)、「伝統、習慣を大切にする」(5.7ポイント)、「権利より責任」(4.5ポイント)で、「祖先崇拜」と「自尊心」は男女とも評価が高くなっている。

また、逆に否定的な考え方が増加した、即ち「良いと思わない」という割合が増加した主な項目は、男子は、「高福祉高負担」(7.0ポイント)、「デモ、住民運動」(3.7ポイント)、「新しいものをつくるには古いものをこわす」(3.7ポイント)、女子は、「高福祉高負担」(6.8ポイント)、「趣味、気ままに暮す」(4.2ポイント)、「新しいものをつくるには古いものをこわす」(3.9ポイント)で、「高福祉高負担」と「新しいものをつくるには古いものをこわす」については、男女とも否定的な考え方が増加している。

図 16-4 男女別にみた生活価値観(%)

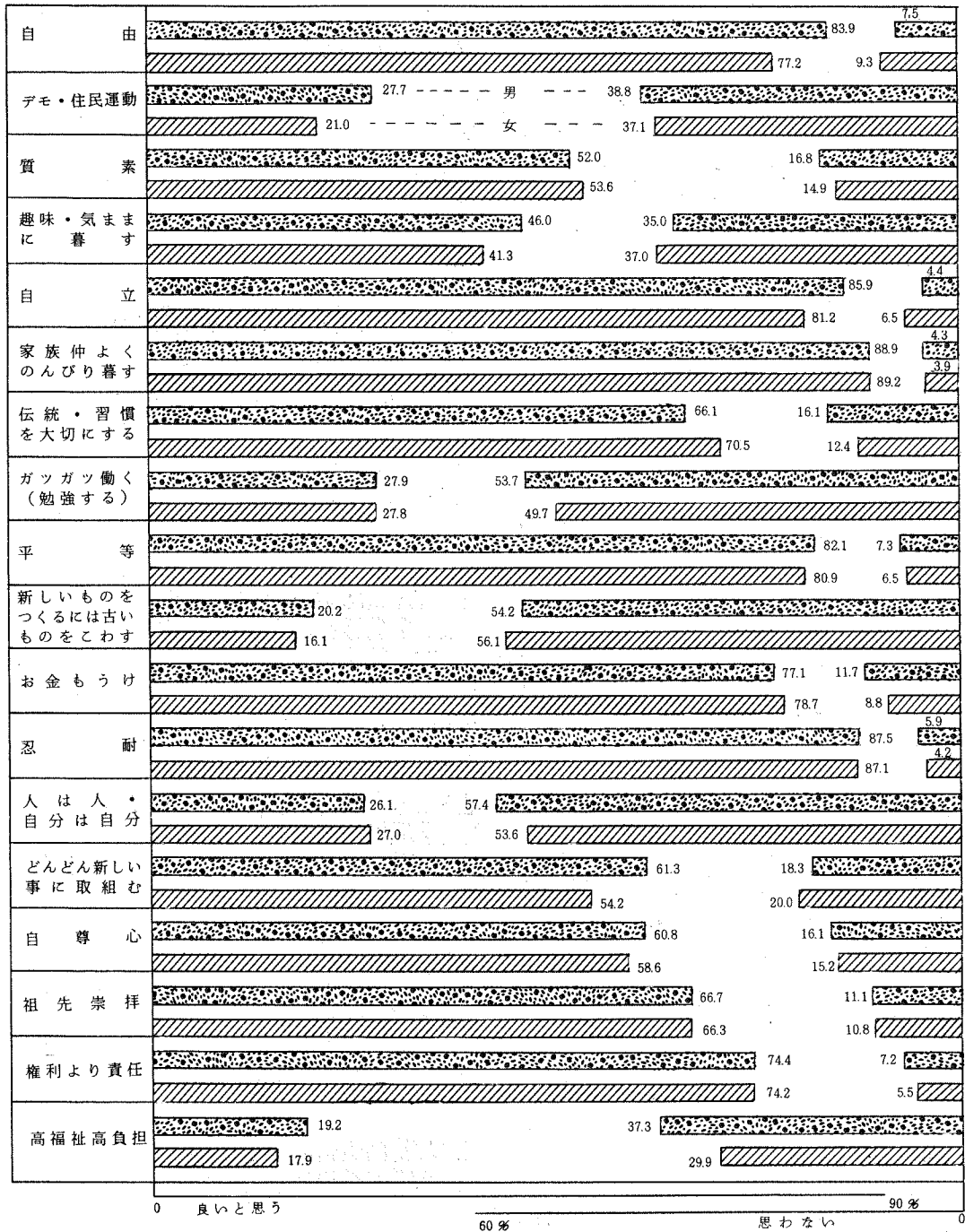


図16-5 男女別「良いと思う」と「良いと思わない」の差

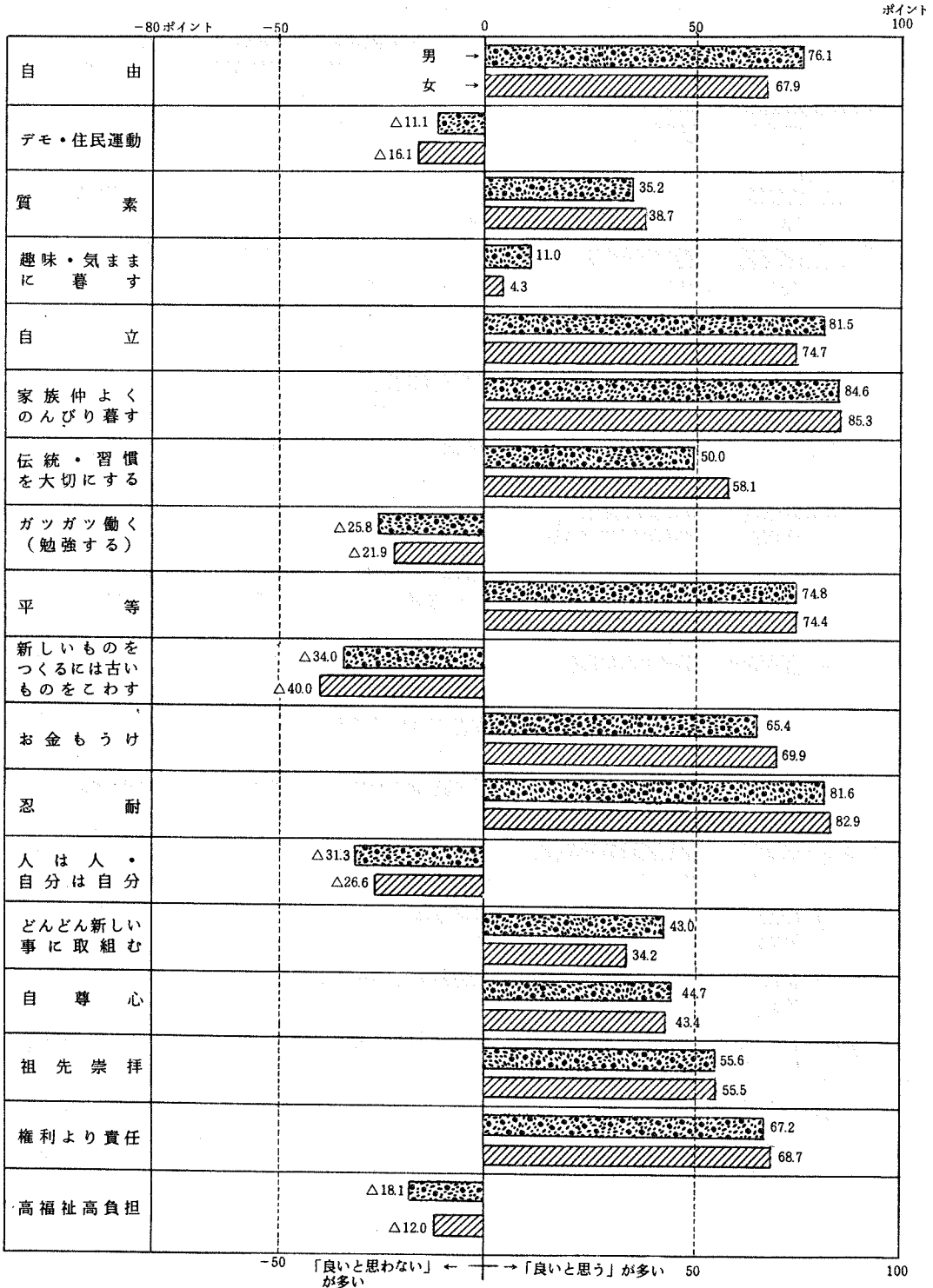


表16-6 「良いと思う」の男女別前回比較

(単位：%)

項目	男			女			男女差		
	今回(1)	前回(2)	差(1-2) (3)	今回(4)	前回(5)	差(4-5) (6)	今回(1-4) (7)	前回(2-5) (8)	差(7-8)
			ポイント △0.6			ポイント △0.9	ポイント 6.7	ポイント 6.4	ポイント 0.3
自由	83.9	84.5	△0.6	77.2	78.1	△0.9	6.7	6.4	0.3
デモ	27.7	29.3	△1.6	21.0	23.6	△2.6	6.7	5.7	1.0
運動	52.0	49.7	2.3	53.6	47.5	6.1	△1.6	2.2	△3.8
素質	46.0	43.0	3.0	41.3	41.8	△0.5	4.7	1.2	3.5
趣味	85.9	86.3	△0.4	81.2	79.3	1.9	4.7	7.0	△2.3
自家	88.9	88.9	0	89.2	91.2	△2.0	△0.3	△2.3	2.0
伝統	66.1	64.7	1.4	70.5	64.8	5.7	△4.4	△0.1	△4.3
ガツ	27.9	23.6	4.3	27.8	23.8	4.0	0.1	△0.2	0.3
平	82.1	81.9	0.2	80.9	80.8	0.1	1.2	1.1	0.1
新しいものをつくるには古いものをこわす	20.2	21.9	△1.7	16.1	15.9	0.2	4.1	6.0	△1.9
お金	77.1	73.2	3.9	78.7	75.4	3.3	△1.6	△2.2	0.6
忍耐	87.5	86.3	1.2	87.1	86.8	0.3	0.4	△0.5	0.9
人は人、自分	26.1	21.5	4.6	27.0	26.8	0.2	△0.9	△5.3	4.4
自分	61.3	57.4	3.9	54.2	47.1	7.1	7.1	10.3	△3.2
自尊心	60.8	56.3	4.5	58.6	49.5	9.1	2.2	6.8	△4.6
先祖	66.7	59.0	7.7	66.3	58.5	7.8	0.4	0.5	△0.1
責任	74.4	72.4	2.0	74.2	69.7	4.5	0.2	2.7	△2.5
負担	19.2	21.5	△2.3	17.9	19.4	△1.5	1.3	2.1	△0.8

表16-7 「良いと思わない」の男女別前回比較

(単位：%)

項目	区分	男			女			男女差		
		今回(1)	前回(2)	差(1-2) (3)	今回(4)	前回(5)	差(4-5) (6)	今回(1-4) (7)	前回(2-5) (8)	差(7-8)
				ポイント (3)			ポイント (6)	ポイント (7)	ポイント (8)	ポイント (8)
自由	由	7.5	6.4	ポイント 1.1	9.3	8.1	ポイント 1.2	ポイント △1.8	ポイント △1.7	ポイント △0.1
デモ	住民運動	38.8	35.1	3.7	37.1	34.4	2.7	1.7	0.7	1.0
素質	素	16.8	13.7	3.1	14.9	13.6	1.3	1.9	0.1	1.8
趣味	暮す	35.0	34.0	1.0	37.0	32.8	4.2	△2.0	1.2	△3.2
自立	立	4.4	3.9	0.5	6.5	5.0	1.5	△2.1	△1.1	△1.0
家族	仲良のんびり暮す	4.3	4.9	△0.6	3.9	3.3	0.6	0.4	1.6	△1.2
伝統	習慣を大切に	16.1	17.5	△1.4	12.4	15.1	△2.7	3.7	2.4	1.3
ガッツ	ガッツ働く(勉強する)	53.7	57.7	△4.0	49.7	54.4	△4.7	4.0	3.3	0.7
平等	等	7.3	6.9	0.4	6.5	5.4	1.1	0.8	1.5	△0.7
新しいもの	をつくるには古いものをこわす	54.2	50.5	3.7	56.1	52.2	3.9	△1.9	△1.7	△0.2
お金	もう	11.7	14.1	△2.4	8.8	10.0	△1.2	2.9	4.1	△1.2
忍耐	耐	5.9	4.4	1.5	4.2	4.1	0.1	1.7	0.3	1.4
人は	自分	57.4	59.0	△1.6	53.6	51.9	1.7	3.8	7.1	△3.3
どん	新しい事に取組む	18.3	20.3	△2.0	20.0	22.6	△2.6	△1.7	△2.3	0.6
自尊心	尊心	16.1	17.7	△1.6	15.2	17.2	△2.0	0.9	0.5	0.4
先祖	先崇拝	11.1	13.2	△2.1	10.8	12.5	△1.7	0.3	0.7	△0.4
権利	より責任	7.2	6.2	1.0	5.5	5.0	0.5	1.7	1.2	0.5
高福祉	高福祉	37.3	30.3	7.0	29.9	23.1	6.8	7.4	7.2	0.2

次に、生活の価値観を年齢別にみると、最も評価の高い（「良いと思う」割合が多い）のは、20代、30代、50代、60代においては「家族仲よくのんびり暮す」であるが、40代においては「忍耐」、10代においては「自由」となっている。また、「家族仲よくのんびり暮す」については、40代は「忍耐」に次いで2位、10代は「自由」、 「忍耐」に次いで「平等」と同率3位となっている。

さらに、「家族仲よくのんびり暮す」については、30代、20代は90%をこえているが、60代は86.1%と40代や50代の割合をも下回り、10代の割合をわずかに上回る程度で、相対的に低いが目立つといえよう。

また、年齢の高低によってはっきり差がみられるのは、「自由」、「伝統、習慣を大切にする」、「人は人、自分は自分」、「どんどん新しい事に取組む」、「祖先崇拜」の5項目で、「自由」については10代の89.5%から60代では69.1%、「人は人、自分は自分」については10代の33.5%から60代では17.9%、「どんどん新しいことに取組む」については10代の68.9%から60代では49.2%と年齢が若いほど「良いと思う」割合は多く、逆に「伝統、習慣を大切にする」については10代の61.8%から60代では72.2%、「祖先崇拜」については10代の37.8%から50代では81.6%（60代は79.4%）と年齢が高い方で「良いと思う」割合は多くなっている。その他「平等」については若年層で「良いと思う」割合は多く、「質素」については逆に高年層で「良いと思う」割合は多くなっており、さらに「権利より責任」については、他の年代がすべて70%台にある中で、10代では58.1%と少ないが目立つ。

「良いと思う」を前回と比較すると、各年齢層を通じて増加したのは「伝統、習慣を大切にする」、「ガツガツ働く（勉強する）」、「お金もうけ」、「どんどん新しい事に取組む」、「自尊心」、「祖先崇拜」の6項目で、中でも「祖先崇拜」、「自尊心」、「どんどん新しい事に取組む」の増加が大きい状況にある。また、「権利より責任」は10代を除けば各年齢層とも増加したが、10代は10.4ポイントも逆に減少した。さらに、「高福祉高負担」については、60代は8.0ポイント増加したが、他の年齢層はともに減少し、年齢間で意識の変化がみられる。

なお、生活の価値観については、「良いと思う」が全体的に増加しているが、それは若年層より高年層において多くなっている状況にある。

一方、「良いと思わない」面からみると、各年代とも高い割合を示した項目は、「ガツガツ働く（勉強する）」、「新しいものをつくるには古いものをこわす」、「人は人、自分は自分」で、この3項目は相対的に否定的な考え方が多い。また、年齢の高低によって差がみられるのは、「伝統、習慣を大切にする」と「新しいものをつくるには古いものをこわす」の2項目で、おおむね若年層で割合は多く、逆に高年層では少なく、若年層ほど否定的な考え方が多くなっている。

「良いと思わない」を前回と比較すると、各年代を通じて「良いと思わない」の割合が増加したのは「自由」と「高福祉高負担」となっているが、増加の割合は「自由」ではわずかであるが、「高福祉高負担」は各年代とも高く、より否定的な考え方が多くなっていることが目立つ。

表16-8 「良いと思う」の年齢階級別対前回比較

(単位：%，ポイント)

項目	15～19歳			20～29歳			30～39歳			40～49歳			50～59歳			60歳以上		
	今回	前回	差	今回	前回	差	今回	前回	差	今回	前回	差	今回	前回	差	今回	前回	差
自由	89.5	88.6	0.9	86.7	87.9	△1.2	82.2	82.8	△0.6	77.3	76.7	0.6	78.6	76.7	1.9	69.1	69.4	△0.3
デモ，住民運動	23.2	23.0	0.2	23.8	29.3	△5.5	30.5	29.8	0.7	26.0	27.2	△1.2	19.7	22.9	△3.2	17.1	16.8	0.3
質素	34.1	29.7	4.4	48.0	47.9	0.1	55.4	56.3	△0.9	57.9	48.7	9.2	57.8	52.4	5.4	54.0	45.6	8.6
趣味，気ままに暮す	55.8	52.5	3.3	45.1	48.8	△3.7	42.7	37.1	5.6	38.8	40.5	△1.7	44.9	41.4	3.5	42.5	36.0	6.5
自立	82.8	79.9	2.9	87.8	87.6	0.2	87.5	87.6	△0.1	84.4	81.4	3.0	78.6	76.4	2.2	73.8	69.7	4.1
家族仲よく暮す	85.8	89.5	△3.7	90.3	90.6	△0.3	91.1	90.6	0.5	89.1	90.5	△1.4	87.6	89.6	△2.0	86.1	88.3	△2.2
伝統，習慣を大切に	61.8	61.4	0.4	64.2	58.1	6.1	66.6	63.3	3.3	71.2	68.5	2.7	71.8	71.6	0.2	72.2	69.9	2.3
ガソリン(勉強する)	29.2	19.2	10.0	22.3	19.9	2.4	24.5	23.9	0.6	28.4	26.9	1.5	37.9	26.7	11.2	28.6	24.6	4.0
平等	85.8	88.0	△2.2	86.7	86.1	0.6	80.4	81.1	△0.7	81.8	81.0	0.8	79.9	77.7	2.2	72.6	69.4	3.2
新しいものをつくるには古いものをこわす	12.7	14.1	△1.4	19.4	16.7	2.7	15.0	19.4	△4.4	20.1	20.3	△0.2	23.5	21.8	1.7	19.4	18.9	0.5
お金もうけ	75.7	74.3	1.4	79.0	72.8	6.2	76.4	73.7	2.7	81.3	77.8	3.5	79.9	78.6	1.3	70.6	64.6	6.0
忍耐	87.3	88.2	△0.9	88.6	89.1	△0.5	87.4	87.4	0	89.4	88.2	1.2	86.7	83.3	3.4	80.6	76.9	3.7
人は人，自分は自分	33.3	31.3	2.0	31.2	29.3	1.9	29.1	23.5	5.6	23.2	22.5	0.7	22.3	22.5	△0.2	17.9	13.5	4.4
どんどん新しい事に取組む	68.9	55.1	13.8	62.3	56.0	6.3	56.3	51.0	5.3	56.3	52.9	3.4	57.5	51.5	6.0	49.2	39.6	9.6
自尊心	49.8	43.1	6.7	63.4	60.2	3.2	62.5	53.6	8.9	59.8	52.4	7.4	61.4	54.4	7.0	54.0	43.8	10.2
祖先崇拜	37.8	31.7	6.1	55.2	46.6	8.6	64.2	56.9	7.3	75.6	68.8	6.8	81.6	74.9	6.7	79.4	76.0	3.4
権利より責任	58.1	68.5	△10.4	76.2	67.8	8.4	74.2	72.1	2.1	79.4	76.7	2.7	78.2	71.8	6.4	70.2	61.9	8.3
高福祉高負担	17.2	19.9	△2.7	17.3	19.9	△2.6	15.0	17.5	△2.5	17.5	22.8	△5.3	23.5	23.8	△0.3	26.6	18.6	8.0

注：差＝今回－前回（下表も同じ）

表16-9 「良いと思わない」の年齢階級別対前回比較

(単位：％，ポイント)

区 分 項 目	15～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
自 由	3.8	3.4	6.3	5.5	8.0	7.5	10.2	10.2	10.0	7.3	10.7	8.7
アモ、住民運動	31.5	28.1	38.5	32.7	35.4	37.5	41.4	34.9	42.5	38.8	36.5	33.4
質 素	15.7	17.0	18.5	16.5	16.2	12.3	14.2	12.7	14.8	12.8	16.7	10.5
趣味、気ままに暮す	22.1	28.1	34.1	29.8	39.3	41.7	41.4	34.1	36.2	31.3	31.4	25.8
自 立	4.9	5.4	5.3	4.2	4.0	2.5	4.7	4.8	8.5	7.1	6.0	4.2
家族仲よく暮す	3.4	3.8	4.2	4.3	2.7	4.4	5.4	4.0	4.9	4.2	4.8	3.6
伝統、習慣を大切に する	15.4	17.2	16.0	19.3	14.9	16.6	14.6	15.7	13.6	13.0	10.7	13.5
ガツガツ働く (勉強する)	49.4	59.6	56.6	64.3	58.7	58.4	51.3	52.2	43.5	51.3	42.1	42.6
平等	6.0	4.0	3.8	4.9	8.7	7.0	8.7	6.8	7.3	5.9	4.4	7.8
新しいものをつくる には古いものをこわす	60.7	60.3	56.4	56.5	57.2	51.3	54.4	50.5	51.0	46.3	48.4	38.4
お金もつけ	8.2	11.2	9.1	16.0	10.3	12.0	10.6	10.7	10.2	8.6	15.9	12.3
忍耐	4.5	2.5	4.8	5.6	5.7	4.9	5.0	3.1	5.1	3.8	5.2	5.1
人は人、自分は自分	44.6	47.1	49.1	51.8	55.0	57.6	62.7	58.6	60.9	57.3	57.1	55.6
どんな新しい 事に取組む	9.4	20.1	13.7	20.7	20.2	23.2	24.8	23.1	19.9	17.9	21.8	22.5
自尊心	11.6	13.4	12.4	15.4	16.8	19.9	19.6	18.6	12.1	17.6	19.8	17.7
祖先崇拝	15.4	17.0	12.6	17.2	14.6	16.3	9.0	10.6	6.3	6.4	5.2	3.9
権利より責任	6.4	4.2	5.3	6.9	8.9	7.9	6.1	4.0	5.1	3.7	5.2	4.2
高福祉高負担	18.0	13.4	31.0	27.7	39.8	30.9	40.6	27.8	31.6	27.3	29.4	23.7

表16-10 年齢階級別の「良いと思う」と「良いと思わない」の差

(単位:ポイント,%)

区分 項目	区分	年齢階級別					「良いと思う」①-「良いと思わない」②					最大、最小の差		
		15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳		50~59歳	60歳以上
自由	①良いと思う	89.5	86.7	82.2	77.3	78.6	69.1	85.7	80.4	74.2	67.1	68.6	58.4	27.3
	②々思わない	3.8	6.3	8.0	10.2	10.0	10.7							
	③わからぬ	6.0	5.9	8.3	10.9	9.2	13.9							
	④無答	0.8	1.1	1.4	1.6	2.2	6.4							
デモ, 住民運動	1	23.2	23.8	30.5	26.0	19.7	17.1	△ 8.3	△ 14.7	△ 4.9	△ 15.4	△ 22.8	△ 19.4	17.9
	2	31.5	38.5	35.4	41.4	42.5	36.5							
	3	43.8	36.2	32.2	30.2	34.2	38.5							
	4	1.5	1.5	1.9	2.4	3.6	7.9							
質素	1	34.1	48.0	55.4	57.9	57.8	54.0	18.4	29.5	39.2	43.7	43.0	37.3	25.3
	2	15.7	18.5	16.2	14.2	14.8	16.7							
	3	47.2	31.8	25.6	24.8	23.5	21.8							
	4	3.0	1.7	2.7	3.1	3.9	7.5							
趣味, 気ままに暮す	1	55.8	45.1	42.7	38.8	44.9	42.5	33.7	11.0	3.4	△ 2.6	8.7	11.1	36.3
	2	22.1	34.1	39.3	41.4	36.2	31.4							
	3	19.9	18.3	15.9	15.9	15.3	17.1							
	4	2.3	2.5	2.2	3.8	3.6	9.1							
自立	1	82.8	87.8	87.5	84.4	78.6	73.8	77.9	82.5	83.5	79.7	70.1	67.8	15.7
	2	4.9	5.3	4.0	4.7	8.5	6.0							
	3	11.2	5.7	6.5	8.5	10.0	11.9							
	4	1.1	1.3	2.0	2.4	2.9	8.3							
家族仲よくのんびり暮す	1	85.8	90.3	91.1	89.1	87.6	86.1	82.4	86.1	88.4	83.7	82.7	81.3	7.1
	2	3.4	4.2	2.7	5.4	4.9	4.8							
	3	9.4	4.2	4.2	4.7	4.9	3.6							
	4	1.5	1.3	2.0	0.9	2.7	5.6							
伝統, 習慣を大切にす	1	61.8	64.2	66.6	71.2	71.8	72.2	46.4	48.2	51.7	56.6	58.2	61.5	15.1
	2	15.4	16.0	14.9	14.6	13.6	10.7							
	3	21.7	18.3	16.6	12.1	10.9	11.9							
	4	1.1	1.5	1.9	2.1	3.6	5.2							
ガツガツ働く(勉強する)	1	29.2	22.3	24.5	28.4	37.9	28.6	△ 20.2	△ 34.3	△ 34.2	△ 22.9	△ 5.6	△ 13.5	28.7
	2	49.4	56.6	58.7	51.3	43.5	42.1							
	3	20.2	19.4	14.2	18.2	13.6	21.4							
	4	1.1	1.7	2.6	2.1	5.1	7.9							

平	1	85.8	86.7	80.4	81.8	79.9	72.6	79.8	82.9	71.7	73.1	72.6	68.2	14.7
	2	6.0	3.8	8.7	8.7	7.3	4.4							
	3	6.0	8.2	8.0	7.3	9.2	12.7							
	4	2.3	1.3	2.9	2.3	3.6	10.3							
新しいものをつくる には古いものをこわす	1	12.7	19.4	15.0	20.1	23.5	19.4	△48.0	△37.0	△42.2	△34.3	△27.5	△29.0	20.5
	2	60.7	56.4	57.2	54.4	51.0	48.4							
	3	25.1	21.7	25.5	23.2	22.3	23.4							
	4	1.5	2.5	2.3	2.3	3.2	8.7							
お 金 も う け	1	75.7	79.0	76.4	81.3	79.9	70.6	67.5	69.9	66.1	70.7	69.7	54.7	16.0
	2	8.2	9.1	10.3	10.6	10.2	15.9							
	3	14.6	10.7	10.9	5.7	7.0	6.8							
	4	1.5	1.3	2.4	2.4	2.9	6.8							
忍	1	87.3	88.6	87.4	89.4	86.7	80.6	82.8	83.8	81.7	84.4	81.6	75.4	9.0
	2	4.5	4.8	5.7	5.0	5.1	5.2							
	3	7.5	5.3	4.9	4.0	5.6	6.4							
	4	0.8	1.3	2.0	1.6	2.7	7.9							
人は人、自分は自分	1	33.3	31.2	29.1	23.2	22.3	17.9	△11.3	△17.9	△25.9	△39.5	△38.6	△39.2	28.2
	2	44.6	49.1	55.0	62.7	60.9	57.1							
	3	21.0	18.7	14.2	12.3	13.1	17.5							
	4	1.1	1.1	1.7	1.7	3.6	7.5							
とんどん新しい 事に取組む	1	68.9	62.3	56.3	56.3	57.5	49.2	59.5	48.6	36.1	31.5	37.6	27.4	32.1
	2	9.4	13.7	20.2	24.8	19.9	21.8							
	3	20.6	22.7	21.4	16.8	19.4	21.0							
	4	1.1	1.3	2.2	2.1	3.2	7.9							
自 尊 心	1	49.8	63.4	62.5	59.8	61.4	54.0	38.2	51.0	45.7	40.2	49.3	34.2	16.8
	2	11.6	12.4	16.8	19.6	12.1	19.8							
	3	36.3	21.7	18.2	17.9	22.3	18.7							
	4	2.3	2.5	2.6	2.8	4.1	7.5							
祖 先 崇 拝	1	37.8	55.2	64.2	75.6	81.6	79.4	22.4	42.6	49.6	66.6	75.3	74.2	52.9
	2	15.4	12.6	14.6	9.0	6.3	5.2							
	3	45.3	30.7	19.3	14.2	9.5	9.1							
	4	1.5	1.5	1.9	1.2	2.7	6.4							
権 利 よ り 責 任	1	58.1	76.2	74.2	79.4	78.2	70.2	51.7	70.9	65.3	73.3	73.1	65.0	21.6
	2	6.4	5.3	8.9	6.1	5.1	5.2							
	3	33.3	17.3	14.6	12.1	13.4	16.3							
	4	2.3	1.3	2.3	2.4	3.4	8.3							
高 福 祉 高 負 担	1	17.2	17.3	15.0	17.5	23.5	26.6	△ 0.8	△13.7	△24.8	△23.1	△ 8.1	△ 2.8	24.0
	2	18.0	31.0	39.8	40.6	31.6	29.4							
	3	61.8	49.1	42.7	39.5	41.5	36.5							
	4	3.0	2.7	2.4	2.4	3.4	7.5							

注：区分中1,2,3,4は、項目の自由①, ②, ③, ④に同じ

17. 定住の意向

本県の人口は、離島・へき地から沖縄本島中南部、特に那覇市を中心とした地域へと移動し、近年この傾向は弱まったものの、依然人口増加は那覇市周辺地域で大きく、離島・へき地では人口減が続いている地域もみられる。

このような状況下で、県民が地域定住についてどのように考えているか、その意向を4区分で聞いてみた。

その結果は図17-1のとおりで、今住んでいる所に何時までも住みたいという「永住型」が35.6%、特に住み続けたいというほどではないが、他所へ移る気もないという「現在地居住型」というか「移転非志向型」が27.5%、できれば今すぐにでも移りたいという「即移転型」が6.6%、何時かは移りたいという「潜在移転型」が24.7%、わからない等が5.6%となっている。

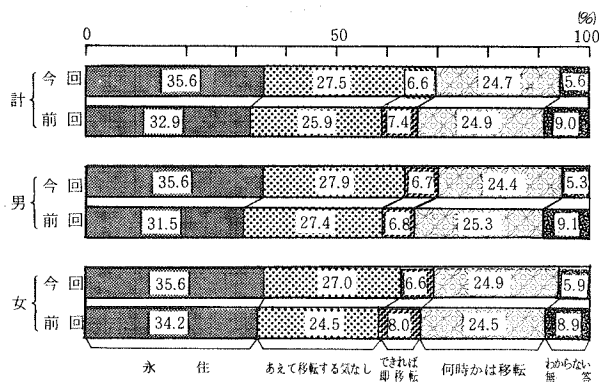
なお、永住型と移転非志向型の2者を「定住型」、即移転型と潜在移転型の2者を「移転型」とすれば、その割合は、それぞれ63.1%、31.3%となり、定住型と移転型の割合は約2対1で、3人のうち1人が移転の意向を持っていることになる。

次に、このような定住意向が4年前に比べるとどう変化したかをみると、同じく図17-1にみるとおり、定住型が増加し、移転型が減少した状況にある。即ち、定住型は58.8%から63.1%へ4.3ポイント増、移転型は32.3%から31.3%へ1.0ポイント減少し、特に定住型の中では永住型の増加が大きく、県民意向は定住化の方向に進んだことを示している。

また、男女別にみると、4年前においては永住型は女子、移転非志向型は男子でそれぞれ多く、男女間に差がみられたが今回は永住型が共に35.6%、移転非志向型も男子27.9%、女子27.0%と差が縮まり、この間、男子の永住型、女子の移転非志向型の増加が相対的に多かったことを示している。一方、移転型については即移転型は女子、潜在移転型は男子でいくぶん多かったが、共に減少する中でその差も縮まった状況にある。

以上のように男女とも定住型増、移転型減と定住化が強まったが、同時に定住意向についても男女間にほとんど差がなくなったことを示している。

図17-1 定住の意向（性別）



注) 今回は59年1月, 前回は54年12月調査。

次に年齢別にみると、定住に対する考え方に相当の差がみられる。

人間の習性として、一定の地域に永く住めば住むほどその土地に愛着を感じ、他に移るという気持ちも薄れていくという傾向があることから、年齢間の定住感に差があるのは当然ともいえよう。調査結果もこのような一般的な傾向を反映して高年齢ほど定住型が多いという状況を示している。

まず、永住型についてみると、永住を考えている人は20代においては21.5%、60代においては65.1%となっている。全体的な傾向としては年齢高永住高となっているが、このような中でわずかではあるが10代の割合が20代、30代の割合を上回っているのが特徴的といえよう。このことは10代が学生中心で、まだ社会人として独立していないことが背景にあるともみられる。その他、30代は20代の割合を上回っているものの、その差はわずかで、40代との差が大きいのが目立っている。即ち、30代の永住型は24.1%であるが、40代は41.1%と急激に増えている。このことは30代までは永住についてあまり考えないが、40代になると考えるようになり、40代から永住志向が強くなることを示しているといえよう。

また、あえて移る気もしないという消極的な定住型即ち「移転非志向型」については、10代から30代までが29%台、40代になるといくぶん少なくなって27.4%、50代25.5%、60代18.3%と高年齢で相対的に少ない状況にある。

一方、移転型については、できればすぐにも移りたいという「即移転型」は各年齢とも相対的に少ないが、その中では30代が10.2%と最も多く、次いで20代8.4%、40代6.9%と多い状況にある。即移転型は30代を中心に相対的に多いわけであるが、この年齢層が世帯の中心であることが多いことから、今後の人口移動に及ぼす影響は平均(6.6%)以上に大きいといえよう。

また、何時かは移りたいという移動予備軍というか「潜在移転型」については、20代を中心に多く、その割合は20代32.0%、30代30.7%、10代27.0%とつづき、60代は9.9%と最も少ない状況にある。

なお、定住型、移転型の区分でみると、60代においては定住型83.4%、移転型11.1%であるが、20代においては54.1%対40.4%、30代においては53.9%対40.9%となり、20代、30代における移転型が相対的に多いのが目立っている。

次に、定住の意向を職業別にみると、図17-3のとおり農林漁業職の永住志向が極めて多いのが目立っている。農林漁業職は年齢的に高年齢者が相対的に多く、また、自然を相手とした職業であることから、永住型が多くなるのは当然ともいえるが、その割合が63.8%と他の職業に比べ極めて多いのは、やはり目立っており、農林漁業の振興の見地から望ましい状況といえよう。農林漁業職に次いで永住型が多いのは管理職で38.2%、技能・生産工・単労職が35.8%、その他、運輸・通信職と専門・技術職、サービス職、保安職の4職業が30%台、事務職と販売職は30%台を割って29.2%、27.8%となっている。

なお、事務職と販売職の永住型が相対的に少ないのは、これら職業従事者が年齢的に若いということも背景にあろう。

また、「移転非志向型」即ち、あえて移る気もしないという人は事務職が最も多く34.4%、次いで管理職と販売職が31%台で続き、最も少ないのは保安職の18.6%となっている。

なお、永住型と移転非志向型の合計即ち「定住型」としてみると、農林漁業職が85.9%、管理職と技能・生産工・単労職、事務職が60%台で続き、保安職が48.8%と最も少ない状況にある。

図 17-2 年齢階級別にみた定住の意向

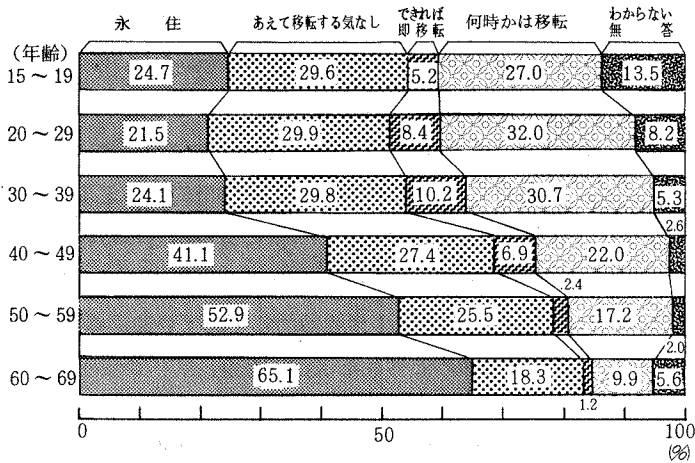
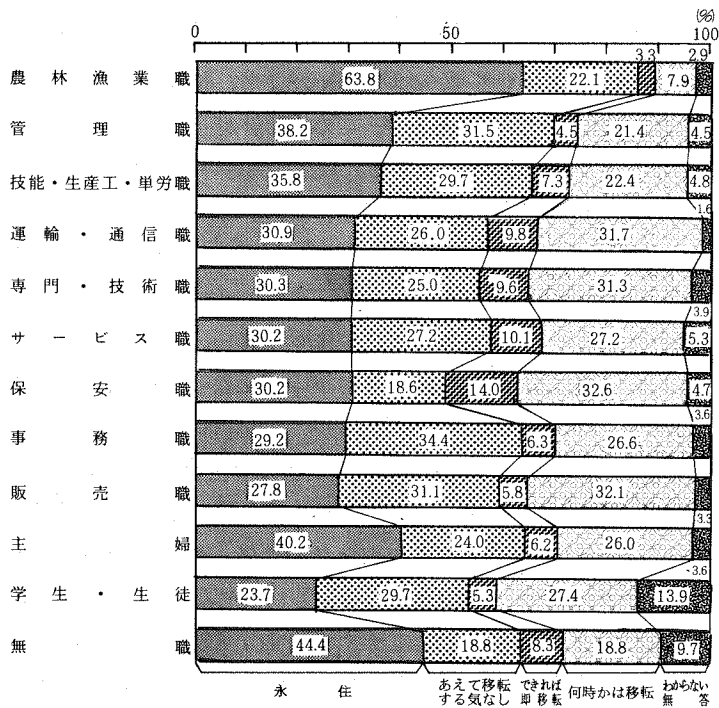


図 17-3 職業別にみた定住の意向



一方、移転型については、即移転型は保安職が最も多く14.0%、次いでサービス職10.1%、運輸通信職9.8%、専門・技術職9.6%と続き、農林漁業職が3.3%と最も少なく、また、潜在移転型は保安職と販売職、運輸通信職、専門・技術職が30%台、事務職と技能・生産工・単労職、管理職が20%台、農林漁業職が7.9%となっている。

なお、移転型は合計で農林漁業職は11.2%であるが、保安職46.6%、専門・技術職40.9%と相当多く、職業間で大きな違いがあることを示している。

また、家庭の主婦や学生の意向については図17-3に示すとおりで主婦の永住型は40.2%と女子全体の割合(35.6%)を4.6ポイント上回り、永住志向にいくぶん差があるようである。学生の場合は永住型23.7%、移転非志向型29.7%合せて53.4%、一方、移転型は合せて32.7%となっている。

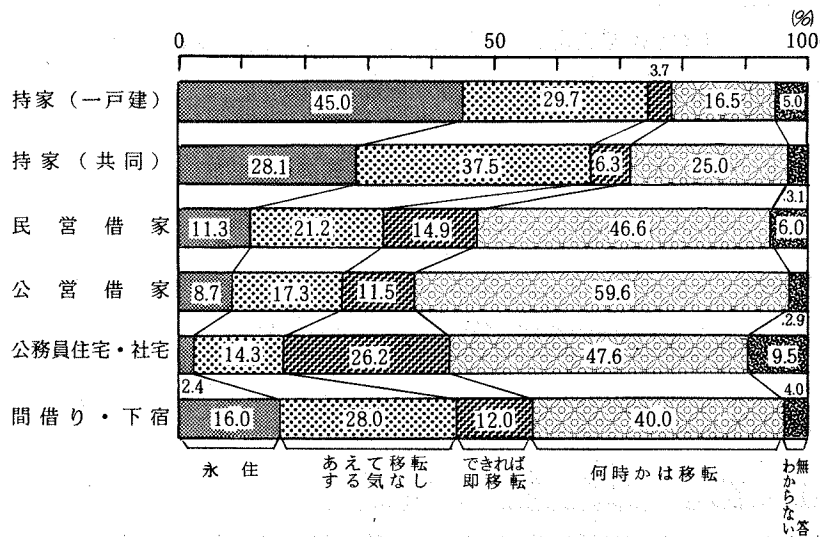
次に、住宅の所有関係別にみると、永住型は持家の場合、一戸建が45.0%、マンション等の共同が28.1%、借家の場合は民営が11.3%、公営が8.7%となっている。永住型は持家と借家では大きな違いがあり、しかも同じ持家でも一戸建と共同では相当の差がある。また、借家でも民営と公営では差があるようである。

また、「あえて移る気もない」という移転非志向型については、共同持家が37.5%、一戸建持家が29.7%、民営借家が21.2%、公営借家が17.3%とやはり、借家より持家の場合が多い。

一方、「できれば今すぐにも移りたい」という即移転型については持家の一戸建3.7%、共同6.3%に対し、借家は民営14.9%、公営11.5%となり、また「何時かは移りたい」という潜在移転型についても持家の一戸建16.5%、共同25.0%に対し、借家は民営46.6%、公営59.6%となっている。

なお、定住型と移転型の区分でみると、持家の場合、一戸建は74.7%対20.2%、共同は65.6%対31.3%、借家の場合は民営32.5%対61.5%、公営26.0%対71.1%となり、持家は定住型、借家は移転型というパターンである。

図17-4 住宅の所有関係別にみた定住の意向



以上のように住宅の所有関係は定住意向に大きく影響し、また、このことは当然ともいえるが、今後、定住を促進するためには経済社会の基盤整備とともに、持家の確保がより必要とされよう。

なお、同時調査した住宅の所有関係は、持家(一戸建)71.0%、持家(共同)2.4%、民営借家18.5%、公営借家3.9%、その他4.3%であった。

最後に、地域別にみると、永住型は宮古が最も多く55.3%、次いで北部48.5%、八重山43.1%とつづき、那覇が29.4%と最も少なく、中部(33.5%)、南部(34.2%)も少ない状況にある。永住型は地方で多く、那覇を中心とした本島中南部で少なく、現実と逆の現象のようにみえるが、

これはこれまで人口移動が那覇を中心とした地域へと流入し、住宅の持家率が相対的に低いこと等が背景にあるのではないかと考えられる。

また、「あえて移る気もない」という移転非志向型については八重山が最も多く31.2%、次いで中部30.5%、その他は20%台であるが、その中では北部が21.0%、宮古が22.0%と少ない状況にある。

一方、「できれば今すぐにでも移りたい」という即移転型は那覇が最も多く9.3%、次いで八重山7.3%、南部6.2%とつづき、宮古が4.0%と最も少ない。また「何時かは移りたい」という潜在移転型についても那覇が最も多く31.0%、次いで南部25.5%、中部24.4%とつづき、八重山が11.9%と最も少ない状況にある。

なお、定住型と移転型に区分してみると、定住型は宮古77.3%、八重山74.3%、北部69.5%、中部64.0%、南部60.8%、那覇56.6%となり、移転型は逆に那覇が最も多く40.3%、宮古が18.7%と最も少ない。

以上のように定住意向は、地域によって大きな差がみられ、しかも人口が集中している那覇市を中心とした地域で移転型が多いのも特徴的といえる。

なお、4年前に比べると那覇、中部、宮古、八重山においては定住型が増え、移転型が減少したが、南部においては逆に移転型が増え、定住型が減少し、北部は定住型が増えたが、移転型もやや増えた状況にある（表参照）。

定住の意向は、以上みてきたように年齢、職業、住宅事情、地域によっても異なり、また、南部地域（南部離島を含む）を除けば定住化が進んだ状況にあるが、総じてみると移転希望者が多い状況にあり、今後、さらに定住条件の整備を促進する必要があるだろう。

図17-5 地域別にみた定住の意向

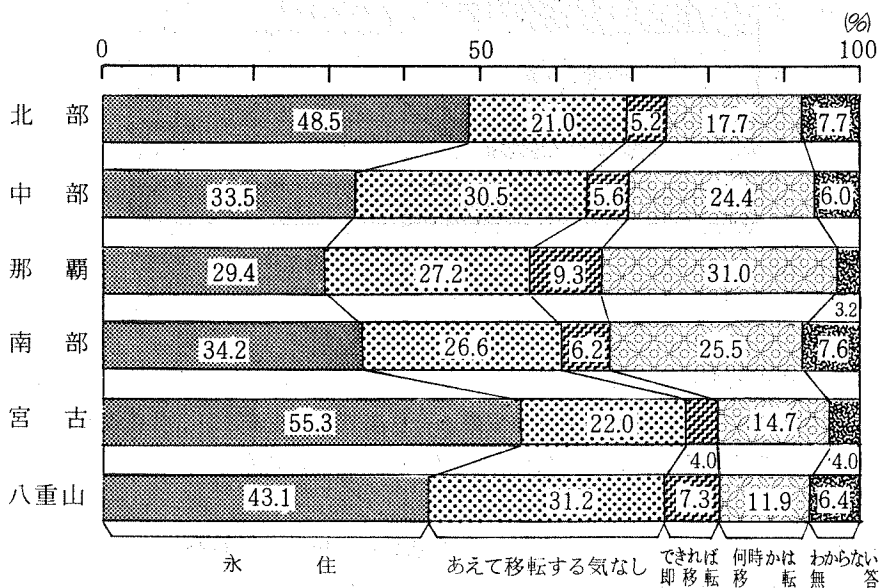


表 17 - 1 定住の意向

(単位：%)

属性		定住の意向		永 住	あ えて 移 転 する 気 な し	でき ば 即 移 転	何 時 か は 移 転	わ か ら な い	無 答	計
		今回	前回							
性 別	計	今回		35.6	27.5	6.6	24.7	4.6	1.0	100.0
		前回		32.9	25.9	7.4	24.9	5.3	3.7	100.0
	男	今回		35.6	27.9	6.7	24.4	4.4	0.9	100.0
		前回		31.5	27.4	6.8	25.3	5.0	4.1	100.0
	女	今回		35.6	27.0	6.6	24.9	4.8	1.1	100.0
		前回		34.2	24.5	8.0	24.5	5.6	3.3	100.0
年 齢 階 級	15 ~ 19 歳	今回		24.7	29.6	5.2	27.0	11.6	1.9	100.0
		前回		12.3	32.6	7.4	32.3	11.7	3.6	100.0
	20 ~ 29	今回		21.5	29.9	8.4	32.0	6.3	1.9	100.0
		前回		21.2	26.6	10.2	31.7	7.3	3.0	100.0
	30 ~ 39	今回		24.1	29.8	10.2	30.7	4.6	0.7	100.0
		前回		26.9	26.5	9.2	30.2	4.0	3.1	100.0
	40 ~ 49	今回		41.1	27.4	6.9	22.0	1.9	0.7	100.0
		前回		38.7	25.7	6.7	20.2	3.9	4.8	100.0
	50 ~ 59	今回		52.9	25.5	2.4	17.2	1.5	0.5	100.0
		前回		52.2	20.5	4.3	16.5	3.3	3.1	100.0
	60 ~ 69	今回		65.1	18.3	1.2	9.9	4.8	0.8	100.0
		前回		56.6	22.5	2.8	10.4	2.5	5.1	100.0

定住の意向（つづき）

（単位：％）

属性		定住の意向		永住	あえて 移転する 気なし	できれば 即移転	何時かは 移転	わからない	無答	計
		今回	前回							
業 別	農林漁業	今回		63.8	22.1	3.3	7.9	2.5	0.4	100.0
		前回		65.8	19.2	2.5	6.1	2.2	4.2	100.0
	事務職	今回		29.2	34.4	6.3	26.6	3.1	0.5	100.0
		前回		28.4	29.3	7.2	28.1	3.8	3.1	100.0
	管理職	今回		38.2	31.5	4.5	21.4	4.5	-	100.0
		前回		32.2	27.1	5.1	33.9	-	1.7	100.0
	専門・ 技術職	今回		30.3	25.0	9.6	31.3	2.9	1.0	100.0
		前回		28.8	31.9	9.7	23.0	3.9	2.7	100.0
	販売職	今回		27.8	31.1	5.8	32.1	2.9	0.4	100.0
		前回		29.8	27.0	7.8	27.6	4.5	3.3	100.0
	運輸・ 通信職	今回		30.9	26.0	9.8	31.7	1.6	-	100.0
		前回		29.5	27.3	8.3	26.5	3.0	5.3	100.0
	技能・生産 工単労職	今回		35.8	29.7	7.3	22.4	4.2	0.6	100.0
		前回		30.0	26.7	7.0	26.8	6.2	3.3	100.0
	保安職	今回		30.2	18.6	14.0	32.6	4.7	-	100.0
		前回		24.1	24.1	10.3	34.5	-	6.9	100.0
サービス職	今回		30.2	27.2	10.1	27.2	4.7	0.6	100.0	
	前回		31.1	23.2	13.0	24.3	5.1	3.4	100.0	
主婦	今回		40.2	24.0	6.2	26.0	2.8	0.8	100.0	
	前回		35.2	24.1	7.0	26.3	4.0	3.4	100.0	
学生・生徒	今回		23.7	29.7	5.3	27.4	12.0	1.9	100.0	
	前回		14.1	30.5	7.4	30.8	12.9	4.2	100.0	
無職	今回		44.4	18.8	8.3	18.8	8.3	1.4	100.0	
	前回		35.2	20.6	9.1	21.7	8.0	5.5	100.0	
その他	今回		32.6	34.3	4.1	25.0	4.1	-	100.0	
	前回									
不詳	今回		32.5	27.5	5.0	2.5	10.0	22.5	100.0	
	前回									

注) 採鉱、採石工は「技能・生産工・単労職」に含む。

定 住 の 意 向 (つづき)

(単位：%)

定住の意向			永 住	あ えて 移 転 する 気 な し	できれば 即 移 転	何時かは 移 転	わからない	無 答	計
属 性									
住 宅 の 所 有 関 係 別	持 家 (一戸建)	今 回	45.0	29.7	3.7	16.5	4.3	0.7	100.0
		前 回	41.6	30.0	4.8	16.1	5.0	2.4	100.0
	持 家 (共 同)	今 回	28.1	37.5	6.3	25.0	3.1	-	100.0
		前 回	12.5	33.9	7.1	41.1	5.4	-	100.0
	民 営 借 家	今 回	11.3	21.2	14.9	46.6	5.0	1.0	100.0
		前 回	11.1	15.7	17.0	49.3	5.2	1.6	100.0
	公 営 借 家	今 回	8.7	17.3	11.5	59.6	1.9	1.0	100.0
		前 回	5.2	15.1	8.1	62.8	6.4	2.3	100.0
	公 務 員 住 宅 社 宅	今 回	2.4	14.3	26.2	47.6	9.5	-	100.0
		前 回	8.3	11.1	15.3	56.9	2.8	5.6	100.0
	間 借 り ・ 下 宿	今 回	16.0	28.0	12.0	40.0	4.0	-	100.0
		前 回	11.1	13.0	22.2	38.9	11.1	3.7	100.0
	そ の 他	今 回	19.4	29.0	6.5	25.8	19.4	-	100.0
		前 回							
不 詳	今 回	25.0	25.0	6.3	-	-	43.8	100.0	
	前 回								
地 域 別	北 部	今 回	48.5	21.0	5.2	17.7	6.6	1.1	100.0
		前 回	43.2	20.4	4.7	17.4	7.0	7.2	100.0
	中 部	今 回	33.5	30.5	5.6	24.4	5.1	0.9	100.0
		前 回	30.5	26.6	8.1	26.1	5.3	3.5	100.0
	那 覇	今 回	29.4	27.2	9.3	31.0	2.5	0.7	100.0
		前 回	21.8	26.7	11.1	33.3	3.8	3.3	100.0
	南 部	今 回	34.2	26.6	6.2	25.5	5.5	2.1	100.0
		前 回	36.3	29.7	4.2	20.9	5.9	3.0	100.0
	宮 古	今 回	55.3	22.0	4.0	14.7	4.0	-	100.0
		前 回	51.4	21.6	4.3	15.7	4.3	2.7	100.0
	八 重 山	今 回	43.1	31.2	7.3	11.9	5.5	0.9	100.0
		前 回	43.9	22.3	5.8	19.4	7.9	0.7	100.0

注) 「住み込み、寄宿舍、独身寮」居住者は「その他」に含む(住宅関係)。

定住の理由

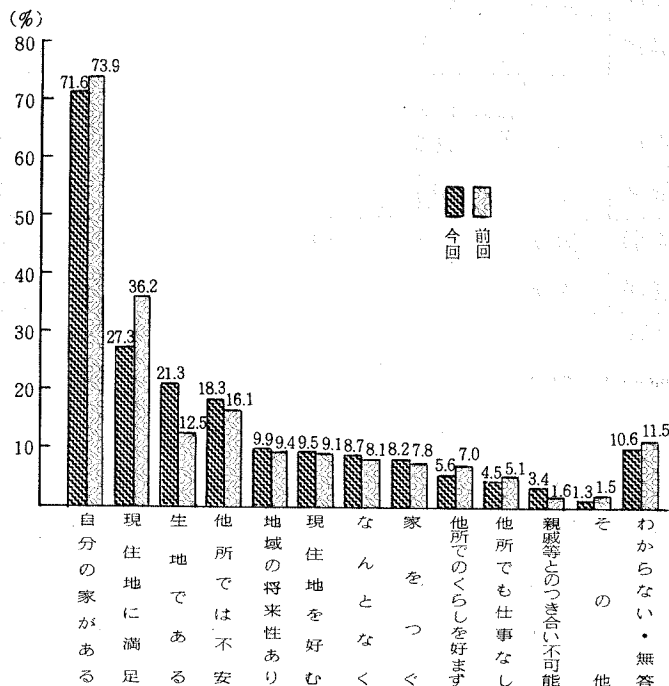
前述したように、定住の意向を持っているのは63.1%であったが、その理由をみると図17-6のとおりである（2項目選択で計は200%である）。

定住の理由で最も多いのは「自分の家があること」で71.6%、次いで「現住地に満足」27.3%、「生地である」21.3%、「他所では不安」18.3%、「地域の将来性あり」9.9%、「現住地を好む」9.5%とつづき、「親戚等との付き合いができなくなる」が最も少なく、3.4%となっている。また、「現在地に満足」とか、「地域の将来性あり」とか、あるいは「現住地を好む」というのは定住意向が強いとみられるが、これらの人は46.7%である。

以上のように定住の理由は「自分の家がある」が突出し、そのことが大きな要因になっているようであるが、その他では定住の意向が強いのもみられるものの、「他所では不安」とか「なんとなく」住んでいるというような消極的な面もみられる。したがって、今後、定住を促進するためには持家の確保を推進するとともに、産業の振興を始め、総合的な生活環境の整備がより必要とされよう。

また、定住の理由が4年前に比べ、どう変化したかをみると、同じく図17-6にみるとおり、変化が大きかったのは「現住地に満足」と「生地である」の2項目である。即ち、「現住地に満足」が減り、「生地である」が増えたわけであるが、このことは定住の理由としてはいくぶん弱まった状況にあるともいえる。

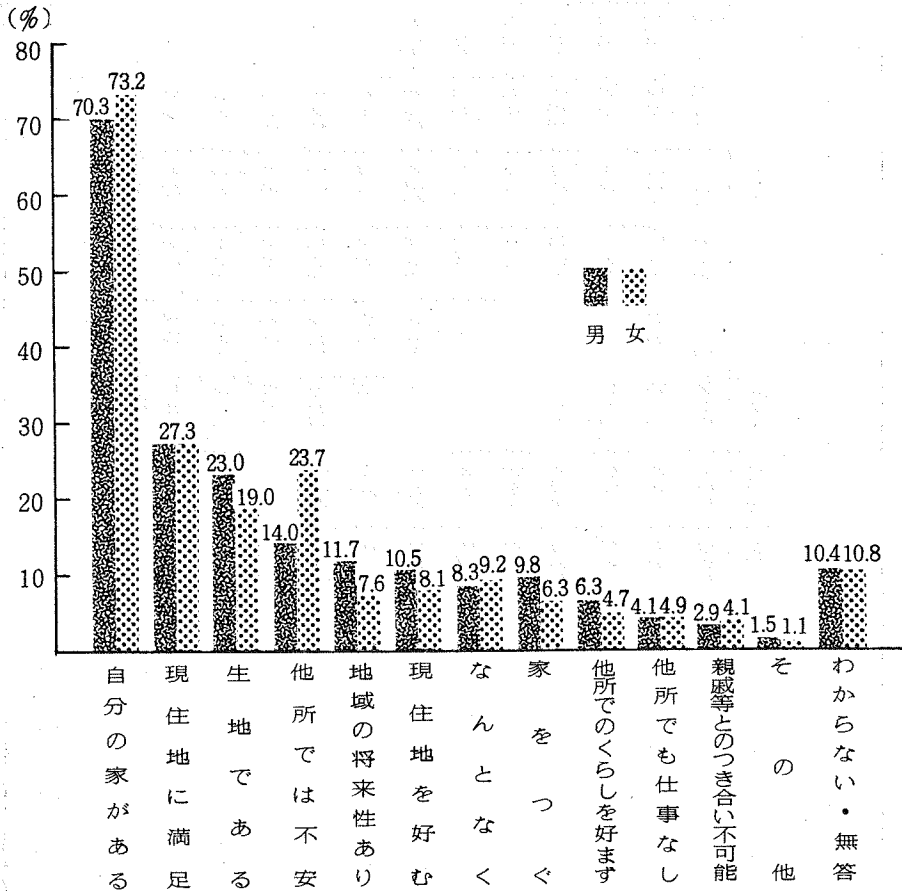
図17-6 定住の理由（男女計）



注) 2項目選択のため、計は200%である。今回は59年1月、前回は54年12月調査。

次に男女別にみると、図17-7のとおりで、男女間で差が目立つのは「他所では不安」で、男より女が相当多く、一方、「地域の将来性あり」、「生地である」、「家をつぐ」、「現住地を好む」については女より男がいくぶん多く、これらの差はそれぞれの特性に基づくともみられるが、定住理由としては男がやや強いようである。

図17-7 男女別にみた定住の理由



注) 2項目選択のため、計は200%である。

表 17-2 定住の理由（性別，年齢階級別）

（単位：％）

理由	属性		性別		年齢階級別													
			男		女		15～19		20～29		30～39		40～49		50～59		60～69	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
自分の家がある	71.6	73.9	70.3	72.6	73.2	75.2	60.0	53.4	50.8	52.3	64.1	70.1	78.2	85.2	83.9	85.1	85.7	87.0
地域の将来性あり	9.9	9.4	11.7	11.9	7.6	7.0	6.2	5.3	11.5	8.0	11.2	11.6	9.9	9.3	9.6	10.0	8.6	9.3
家をつぐ	8.2	7.8	9.8	9.6	6.3	6.2	6.2	7.7	12.7	12.3	10.1	9.4	5.6	5.6	8.7	5.7	5.2	6.3
他所では不安	18.3	16.1	14.0	11.2	23.7	20.7	29.0	21.6	17.2	13.9	15.2	15.0	18.5	16.0	18.9	15.7	16.7	18.2
他所でのくらしを好まず	5.6	7.0	6.3	7.0	4.7	7.0	11.0	10.1	5.3	9.3	6.4	7.9	5.3	5.3	3.1	4.7	4.8	6.7
他所でも仕事なし	4.5	5.1	4.1	5.7	4.9	4.6	2.8	2.9	5.7	9.1	5.3	5.2	3.5	4.4	6.5	4.7	1.4	3.3
現住地に満足	27.3	36.2	27.3	35.6	27.3	36.8	16.6	20.2	28.3	31.2	31.4	38.0	30.1	40.8	22.6	44.5	28.1	30.1
親戚等のつき合いが不可能	3.4	1.6	2.9	1.6	4.1	1.7	4.1	1.4	2.0	1.9	2.4	1.3	4.1	2.3	4.6	1.0	3.3	1.5
生地である	21.3	12.5	23.0	13.6	19.0	11.5	29.0	20.7	28.3	18.9	20.2	9.6	15.7	9.0	17.3	8.5	26.2	16.4
現住地を好む	9.5	9.1	10.5	10.4	8.1	8.0	14.5	23.1	12.3	11.5	8.5	8.3	10.9	5.8	6.2	6.5	6.7	7.8
なんとなく	8.7	8.1	8.3	7.9	9.2	8.3	9.7	20.2	11.9	13.6	10.9	8.9	7.6	4.9	7.7	3.7	3.8	2.6
その他	1.3	1.5	1.5	1.3	1.1	1.6	4.1	1.0	0.4	2.4	1.9	2.5	0.8	1.2	1.2	0.7	0.5	-
わからな	0.4	0.9	0.2	1.2	0.7	0.7	-	3.4	0.8	1.1	0.8	0.6	0.3	0.2	-	0.7	0.5	1.5
無	10.2	10.6	10.2	10.5	10.1	10.7	6.9	9.1	12.7	14.7	11.7	11.6	9.6	9.9	9.6	8.5	8.6	9.3
計	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0

注) 2項目選択で，計は200％である。

表17-3 定住の理由（地域別）

（単位：％）

理由	地域		北部		中部		那覇		南部		宮古		八重山	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
自分の家がある	71.4	73.7	75.2	76.7	65.9	66.8	67.9	75.1	76.7	77.3	77.8	67.0		
地域の将来性あり	10.6	13.5	11.0	10.3	10.1	8.1	6.4	6.8	8.6	6.6	11.1	9.9		
家をつぐ	10.6	8.3	7.3	6.2	4.1	5.7	13.2	11.3	14.7	10.5	4.9	11.0		
他所では不安	16.4	14.1	18.5	16.6	20.3	16.1	20.4	15.7	8.6	16.0	18.5	19.8		
他所でのくらしを好まず	3.7	8.7	4.5	7.5	5.6	6.6	7.9	6.3	8.6	6.1	6.2	3.3		
他所でも仕事なし	5.3	6.7	4.1	3.7	5.1	7.1	4.9	4.9	3.4	6.1	2.5	3.3		
現住地に満足	22.2	38.8	27.4	32.1	33.8	37.4	21.1	37.3	22.4	40.3	32.1	49.5		
親戚等とのつき合いが不可能	2.1	0.6	2.9	2.2	2.9	0.9	7.5	1.2	3.4	2.2	-	3.3		
生地である	31.7	9.9	18.8	13.9	16.4	8.1	27.2	14.8	25.9	17.7	14.8	7.7		
現住地を好む	7.9	9.3	7.3	8.7	12.6	10.9	7.2	9.2	15.5	7.7	12.3	7.7		
なるとなく	7.4	2.6	9.9	8.7	10.1	12.8	7.5	8.0	3.4	5.0	6.2	5.5		
その他の	0.5	0.6	0.8	1.4	1.9	3.8	1.9	0.7	0.9	-	2.5	-		
わかからない	-	1.3	0.6	1.2	0.2	0.9	0.8	0.7	-	-	-	-		
無答	10.1	11.9	11.8	10.7	10.9	14.7	6.0	8.0	7.8	4.4	11.1	12.1		
計	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0		

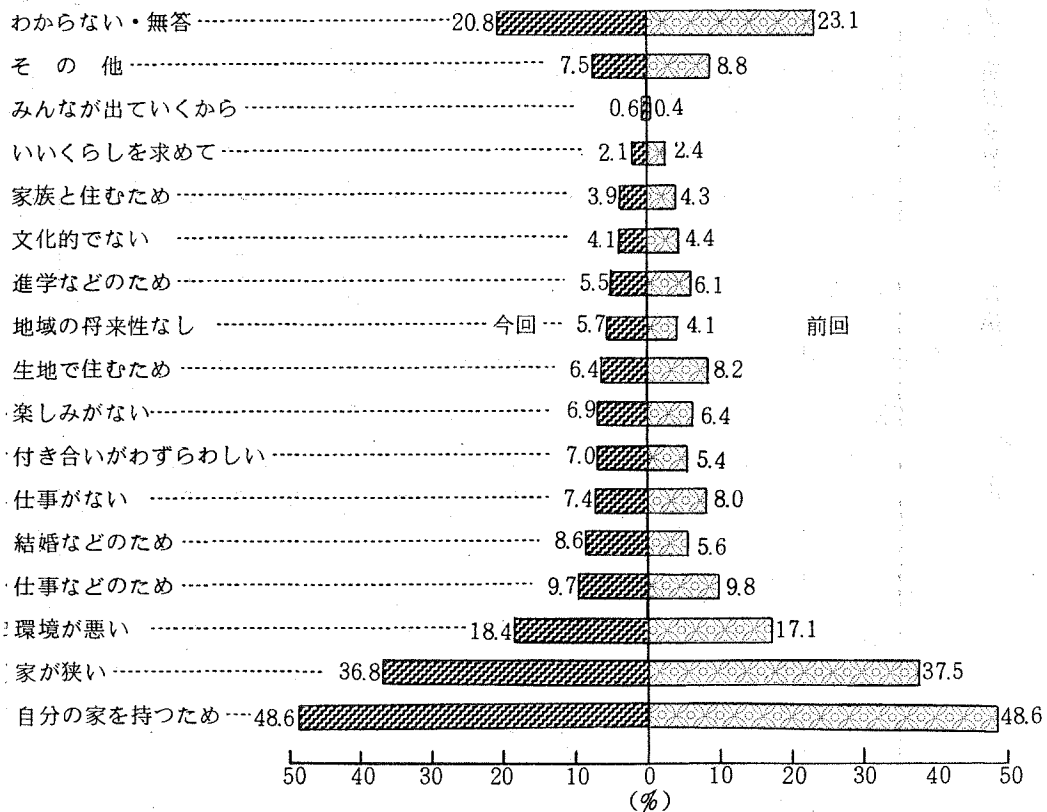
移転の理由

移転の意向を持っているのは31.3%であったが、これらの人達が何故移転を希望しているのか、その理由をみると図17-8のとおり(2項目選択で計は200%である)、「自分の家を持つため」というのが最も多く48.6%、次いで「家が狭い」36.8%、「環境が悪い」18.4%、「仕事などのため」9.7%、「結婚などのため」8.6%とつづいている。

移転の理由は住宅関係が極めて多いわけであるが、これは定住の理由で持家の確保が大きな要因になっていたのと連動するものであり、定住化を促進するには、やはり、住宅関係の整備が必要であることを示しているといえる。また、「環境が悪い」とか、「仕事などのため」とか、あるいは「仕事がないため」に移転したいという人も相当おり、生活環境の総合的な整備がここでも指摘できよう。

なお、このような移転理由は4年前とほとんど差がなく、同じ傾向で推移してきた状況にある(図17-8)。

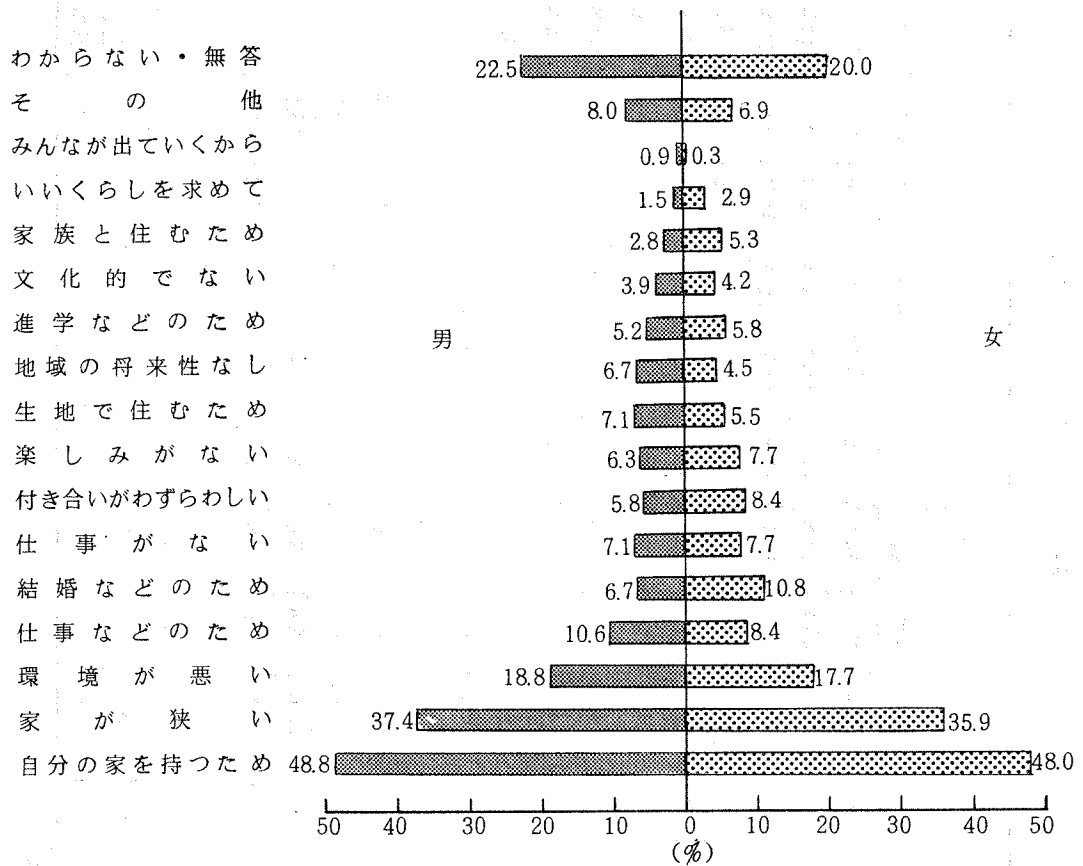
図17-8 移転の理由 (男女計)



注) 2項目選択のため、計は200%である。今回は59年1月、
前回は54年12月調査。

次に男女別に移転理由をみると、図17-9のとおり、全体的には男女間にそれほど差はないが、「仕事などのため」、「地域の将来性がないため」に移転したいとするのは男、「結婚などのため」、「付き合いがわずらわしいため」、「家族と住むため」に移転したいとするのは女においていくぶん多い状況にある。

図 17 - 9 男女別にみた移転理由



注) 2項目選択のため、計は200%である。

表 17-4 移転の理由（性別・年齢階級別）

（単位：％）

属性 理由	性			別		年 齢 階 級 別											
	男女計		男		女		15～19		20～29		30～39		40～49		50以上		
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	
自分の家を持つため	48.6	48.6	48.8	52.0	48.0	45.6	41.9	33.3	59.1	56.8	55.1	56.3	37.3	41.2	34.9	41.3	
家が狭い	36.8	37.5	37.4	36.1	35.9	38.8	27.9	27.8	34.2	28.9	37.2	43.5	39.1	46.7	43.1	37.4	
環境が悪い	18.4	17.1	18.8	19.3	17.7	15.1	12.8	16.7	10.4	16.8	23.5	15.6	18.9	20.0	22.0	17.4	
地域の将来性なし	5.7	4.1	6.7	5.4	4.5	3.0	2.3	3.9	5.2	2.2	3.9	4.1	8.3	4.2	10.1	8.4	
仕事がない	7.4	8.0	7.1	7.5	7.7	8.4	15.1	18.9	9.8	8.4	5.6	3.6	4.1	6.2	6.4	8.4	
いいくらしを求めて	2.1	2.4	1.5	2.3	2.9	2.5	2.3	3.9	4.7	3.1	0.4	1.0	3.0	2.9	0.9	1.9	
楽しみがない	6.9	6.4	6.3	5.4	7.7	7.2	10.5	14.4	7.8	6.5	6.0	2.8	3.6	5.4	10.1	7.1	
進学などのため	5.5	6.1	5.2	4.4	5.8	7.5	16.3	12.2	3.1	4.7	4.9	6.6	6.5	5.4	0.9	1.3	
文化的でない	4.1	4.4	3.9	5.2	4.2	3.7	4.7	7.8	3.1	3.7	3.5	3.1	5.3	4.2	4.6	5.8	
結婚などのため	8.6	5.6	6.7	3.8	10.8	7.2	19.8	12.8	18.1	10.2	5.6	3.1	1.2	1.7	1.8	—	
付き合いがわずらしい	7.0	5.4	5.8	3.6	8.4	7.0	5.8	6.7	5.7	8.1	7.7	5.1	9.5	3.3	4.6	1.9	
みんなが出ていくから	0.6	0.4	0.9	0.2	0.3	0.6	—	0.6	1.6	0.6	0.4	0.5	—	—	0.9	—	
家族と住むため	3.9	4.3	2.8	5.6	5.3	3.3	1.2	1.1	1.0	1.6	2.5	3.6	4.1	2.9	14.7	18.1	
仕事などのため	9.7	9.8	10.6	10.6	8.4	9.0	8.1	15.0	9.8	10.6	11.6	10.5	12.4	6.7	0.9	5.2	
生地で住むため	6.4	8.2	7.1	8.3	5.5	8.0	2.3	2.8	6.7	5.3	6.0	7.4	8.3	14.2	7.3	12.9	
その他の	7.5	8.8	8.0	8.2	6.9	9.3	7.0	5.0	3.6	9.9	8.1	9.7	8.3	11.2	11.9	4.5	
わからない	3.5	5.0	3.5	5.4	3.4	4.6	3.5	3.9	3.1	7.8	3.9	2.8	3.0	5.0	3.7	5.8	
無	17.3	18.1	19.0	16.8	16.6	19.2	18.6	13.3	13.0	14.9	14.4	20.7	27.2	18.7	21.1	22.6	
計	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	

注) 2項目選択で計は200%である。

表17-5 移転の理由(地域別)

(単位：%)

理由	北 部		中 部		那 覇		南 部		宮古・八重山	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
	自分の家を持つため	41.9	43.7	48.5	47.2	49.7	55.2	53.6	46.9	34.7
家が狭い	27.4	22.3	32.3	38.3	47.3	49.5	34.1	26.9	18.4	16.9
環境が悪	11.3	9.8	17.8	18.5	23.0	22.2	10.9	10.6	22.4	6.0
地域の将来性なし	8.1	8.0	6.7	4.0	2.4	1.5	9.4	4.4	6.1	10.8
仕事がない	16.1	21.4	6.4	6.8	3.7	2.6	12.3	16.3	10.2	7.2
良いくらしを求めて	4.8	4.5	2.0	1.8	0.7	2.6	4.3	1.9	2.0	3.6
楽しみがない	8.1	3.6	5.7	7.9	6.1	4.6	8.0	4.4	14.3	12.0
進学などのため	8.1	10.7	3.0	4.6	5.4	1.0	6.5	10.6	14.3	24.1
文化的でない	4.8	6.2	5.1	5.0	3.0	2.1	3.6	6.3	4.1	6.0
結婚などのため	9.7	8.9	11.4	5.0	6.8	5.7	6.5	4.4	6.1	7.2
付き合いがわずらしい	8.1	5.4	7.1	6.1	4.7	4.1	12.3	5.6	4.1	6.0
みんなが出ていくから	3.2	-	0.3	0.4	-	-	0.7	1.9	2.0	-
家族と住むため	3.2	6.2	3.0	3.7	4.4	5.2	3.6	3.8	8.2	3.6
仕事などのため	9.7	14.3	8.4	9.0	8.1	5.7	10.1	15.0	24.5	18.1
生地で住むため	8.1	8.9	7.4	8.6	6.4	7.7	3.6	8.8	6.1	4.8
その他の	3.2	5.4	9.4	9.5	8.1	9.3	4.3	7.5	6.1	8.4
わからな	4.8	4.5	4.0	5.1	2.7	4.1	4.3	6.9	-	4.8
無	19.4	16.1	21.2	18.5	17.6	17.0	11.6	18.1	16.3	22.9
計	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0

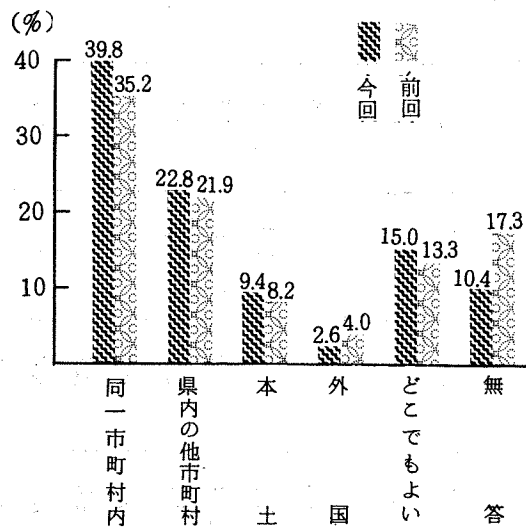
移転の希望先

移転の意向を持っている人の移転希望先をみると、図17-10のとおり、「同一市町村内」とするの
 が最も多く39.8%、「県内の他市町村」22.8%、「本土」9.4%、「外国」2.6%となっている。
 また、「どこでもよい」が15.0%、「無答」が10.4%と移転先がはっきりしないが25.4%いる。

なお、4年前に比べると、「同一市町村内へ」というのが増え、「本土」、「県内の他市町村へ」
 というのもいくぶん増えたが、「外国へ」というのは少なくなった。また、「どこでもよい」もい
 くぶん増えたが「無答」は大きく減り、意志表示をしなかった人は全体的に相当少なくなった。

次に男女別にみると、「同一市町村内へ」は女、「県内の他市町村へ」は男が多いが、「本土へ」、
 「外国へ」というのはほとんど差がない。

図17-10 移転希望先（男女計）



注) 計は100%である。

図17-11 男女別にみた移転希望先

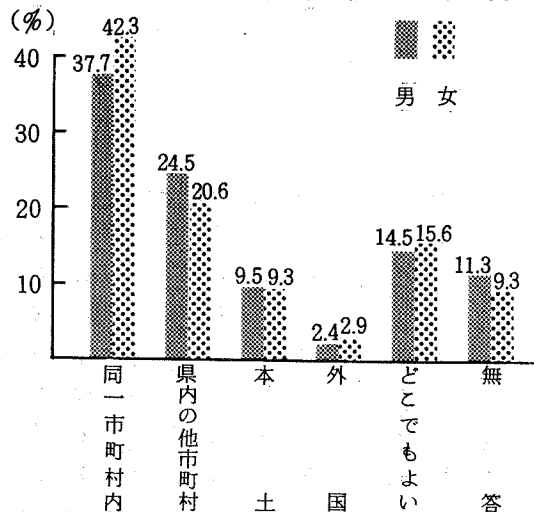


表 17 - 6 移 転 の 理 由

(単位：%)

属性	移転先		外国		本土		県内の他市町村		同一市町村内		どこでもよい		無答		計
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	
性別	男女計	2.6	4.0	9.4	8.2	22.8	21.9	39.8	35.2	15.0	13.3	10.4	17.3	100.0	
	男	2.4	4.0	9.5	9.0	24.5	21.3	37.7	34.4	14.5	12.5	11.3	18.7	100.0	
	女	2.9	4.0	9.3	7.5	20.6	22.5	42.3	35.9	15.6	14.0	9.3	16.0	100.0	
年齢階級別	15 ~ 19	4.7	16.6	24.4	16.0	14.0	21.9	29.1	18.7	18.6	15.5	9.3	11.2	100.0	
	20 ~ 29	3.6	2.4	12.5	7.0	22.9	22.7	41.1	36.1	12.5	18.2	7.3	13.6	100.0	
	30 ~ 39	1.8	1.3	6.7	8.4	27.7	21.3	38.6	37.6	15.8	13.7	9.5	17.8	100.0	
	40 ~ 49	2.4	2.8	6.6	6.9	21.0	21.5	42.5	33.7	14.4	9.3	13.2	25.6	100.0	
	50 以上	1.8	1.2	3.7	3.6	19.3	22.3	45.0	48.8	15.6	6.0	14.7	18.1	100.0	
地域別	北 部	3.2	7.1	4.8	9.7	21.0	26.6	40.3	28.3	16.1	9.7	14.5	18.6	100.0	
	中 部	3.4	3.8	9.5	6.6	21.4	23.3	34.6	36.4	16.6	15.2	14.6	14.7	100.0	
	那 覇	2.4	3.0	9.8	7.0	15.3	16.0	51.2	40.0	13.9	12.5	7.5	21.5	100.0	
	南 部	2.2	4.8	5.8	10.2	39.9	31.9	29.0	26.5	15.9	10.8	7.3	15.7	100.0	
	宮古・八重山	—	4.7	22.4	18.6	30.6	15.1	32.7	31.4	8.2	14.0	6.1	16.3	100.0	